

令和 3 年度沖縄県海岸漂着物モニタリング調査等業務
報告書

令和 4 年 3 月

沖縄県 環境部 環境整備課

<目 次>

1. 背景	1
1.1 海岸漂着物処理推進法及び国の基本方針	1
1.2 沖縄県海岸漂着物対策地域計画	1
2. 目的	4
3. 調査項目	4
4. 海岸漂着ごみ組成調査	4
4.1 調査方法	4
4.1.1 海岸漂着物の回収・分析・測定	4
4.1.2 調査枠の設定	4
4.1.3 海岸漂着物の回収・分類・測定調査	5
4.1.4 特徴的な海岸漂着物の分析・測定	11
4.2 調査地点及び調査時期	12
4.2.1 調査地域・海岸の選定方針	12
① 調査地域の選定	12
② 調査対象海岸の選定	13
③ 調査地域及び調査対象海岸	14
4.2.2 調査時期	17
4.2.3 調査実施体制	18
4.2.4 回収した海岸漂着物の適正な処理	18
4.2.5 調査結果の整理方法	18
① 環境省ガイドライン	18
② 沖縄県モニタリング調査手法	18
●365日あたりの漂着量	19
●60日あたりの漂着量	19
●海岸別の漂着量の整理	19
●地域別の漂着量の整理	19
●特徴的な海岸漂着物	19
4.3 調査結果の整理	22
4.3.1 海岸漂着物の回収・分類・測定	22
① 環境省ガイドライン	22
② 沖縄県モニタリング調査手法	27
③ 地域別の漂着量	38
④ 過年度のモニタリング調査結果との比較	48
⑤ 特徴的な海岸漂着物の分析・測定	54
5. マイクロプラスチック調査及び分析	71
5.1 調査方法	71
5.1.1 マイクロプラスチックの回収	71
5.1.2 マイクロプラスチックの計測	74
5.2 調査地点及び調査時期	74
5.3 調査結果の整理	76
5.3.1 マイクロプラスチックの回収個数	76
⑥ 令和3年6月調査	76
⑦ 令和3年9月調査	76
⑧ 令和3年11月調査	76
⑨ 令和4年1月調査	76
5.3.2 マイクロプラスチックの分布状況	78
5.3.3 マイクロプラスチックの分布量	81

1. 背景

1.1 海岸漂着物処理推進法及び国の基本方針

海岸漂着物等の漂着状況の把握について、海岸漂着物処理推進法では、第 22 条において「国及び地方公共団体は、海岸漂着物等の発生の抑制を図るため必要な施策を効果的に推進するため、定期的に、海岸漂着物等の発生の状況及び原因に関する調査を行うよう努めなければならない。」としている。

また、国の基本方針においては、表 1.2-1 に示すとおり、海岸漂着物等の状況把握の必要性及び得られた情報の共有、更には沖縄県地域計画への反映方針が記載されている。

1.2 沖縄県海岸漂着物対策地域計画

平成 24 年度に見直しを行った、沖縄県地域計画の本項に関連する部分を表 1.2-2 に示す。

沖縄県地域計画では、「第 1 章 海岸漂着物対策の推進に関する基本的方向」において、海岸漂着物の発生状況、発生原因の実態を把握するため、定期的に調査を行うよう努め、更には積極的に広報するとしている。また、「第 2 章 沖縄県における海岸漂着物対策を推進するための計画」では、「その他配慮すべき事項」の一項目として「海岸漂着物のモニタリング」が記載されている。また、沖縄県で実施すべき具体的なモニタリング手法については、本調査の成果をもって沖縄県が策定後、沖縄県地域計画の資料として記載することとなっている。

したがって、本事業においては、回収や発生抑制等の対策に資するため、県内の海岸漂着物等の状況を把握するとともに、モニタリング手法を確立することを目的として、県内の代表的な海岸において海岸漂着物等のモニタリング調査を実施する。

表 1.2-1 国の基本方針における漂着状況把握に関する記載

国の基本方針の記載
第1 海岸漂着物対策の推進に関する基本的事項 2. 海岸漂着物対策の基本的方向性 (2) 海岸漂着物等の効果的な発生抑制 ② 発生の状況及び原因に関する実態把握 ア 我が国の海岸漂着物等に関する調査 我が国における海岸漂着物等の発生の実態には未解明の部分が多く残されており、海岸漂着物等の効果的な発生抑制のための施策を的確に企画し、実施するためには、まず、海岸漂着物等の発生の状況や原因について可能な限り把握し、施策の検討の資料として供することが必要である。 このため、国や地方公共団体は、海岸漂着物等の発生の状況や原因を把握するため定期的に調査を行うよう努め、その結果を踏まえて海岸漂着物等の発生抑制を図るために必要な施策を企画立案し、実施するよう努める。 イ 我が国から周辺国に漂着する物に関する実態把握 海岸漂着物には周辺国から我が国の海岸に漂着するものも多くみられるが、一方で、我が国に由来するごみ等であって周辺国の海岸に漂着するものもある。良好な海洋環境の保全や周辺国との国際協力の推進を図る観点から、我が国から周辺国に漂着する物の発生抑制を図ることも重要であり、国は、我が国から周辺国に漂着する物について可能な限り実態の把握に努める。 ウ 情報の共有 国や地方公共団体は、我が国における海岸漂着物等の発生の状況や原因に関する調査の結果について、関係者間で情報を共有するよう努めるとともに、インターネット等を活用して積極的に国民に広報し、海岸漂着物の問題に関する普及啓発を図るよう努める。 また、海岸漂着物等の実態については、民間団体等や学識経験者によって自主的に各種の調査活動がなされているところであり、国や地方公共団体はこれらの調査活動の結果を収集、整理し、施策に活用するよう努める。
第2 地域計画の作成に関する基本的事項 2. 作成に当たって留意すべき基本的事項 (3) 海岸漂着物対策の実施に当たって配慮すべき事項そのた海岸漂着物対策の推進に関し必要な事項 ① モニタリングの実施 (c) 普及啓発又は環境教育に関する事項 ア 地域計画の実施による効果を確認するため、計画期間中又は計画終了後のモニタリングの実施について検討を行うことが望まれる。 イ モニタリングの実施について地域計画に位置付ける場合、実施主体、モニタリングの内容、時期・頻度等を記載することが望まれる。

表 1.2-2 沖縄県海岸漂着物対策地域計画における漂着状況把握に関する記載

沖縄県海岸漂着物対策地域計画の記載
第1章 海岸漂着物対策の推進に関する基本的方向 3. 沖縄県における海岸漂着物対策の基本的方向性 (2) 海岸漂着物等の効果的な発生抑制 ② 発生の状況及び原因に関する実態把握 海岸漂着物等の発生実態には未解明の部分が多い。海岸漂着物等の発生抑制のための効果的な施策を的確に企画・実施するためには、その発生実態を可能な限り把握することが必要である。 沖縄県は、海岸漂着物等の発生状況、発生原因の実態を把握するため、定期的に調査を行うよう努め、得られたデータや把握した状況について、関係者間で情報を共有するよう努めるとともに、インターネット等を活用して積極的に広報し、海岸漂着物の問題に関する普及啓発を図るよう努めるものとする。また、海岸漂着物等の実態については、NPO等その他の民間団体等や学識経験者によって自主的に各種の調査活動がなされているところであり、沖縄県はこれらの調査活動の結果を収集、整理し、施策に活用するよう努めるものとする。
第2章 沖縄県における海岸漂着物対策を推進するための計画 4. その他配慮すべき事項 (1) 海岸漂着物等のモニタリング 沖縄県における海岸漂着物等の効果的な回収処理や発生抑制のための施策を実施するためには、海岸漂着物等の漂着状況や発生源等について可能な限り把握し、施策の検討の資料として供することが必要である。このため、沖縄県は、海岸漂着物等の漂着状況や発生源を把握するため定期的に調査（モニタリング）を行うよう努める他、NPO等の定期的な海岸漂着物対策に係る取組から得られる情報を踏まえ、海岸漂着物の基礎情報を整備するよう努めるものとする。 また、沖縄県では、県内における将来の海岸漂着物対策に資するため、地域住民、民間団体、NPO等、地方公共団体等の関係者が取組める効果的な海岸漂着物等のモニタリング手法を策定する。

2. 目的

沖縄県では、「美しく豊かな自然を保護するための海岸における良好な景観及び環境の保全に係る海岸漂着物等の処理等の推進に関する法律」（平成 21 年 7 月 15 日法律第 82 号）

（以下、「海岸漂着物処理推進法」という。）第 14 条に定める「沖縄県海岸漂着物対策地域計画」（以下「地域計画」という。）を策定するとともに、行政機関や地域関係者等を委員とする「沖縄県海岸漂着物対策推進協議会」（以下「県協議会」という。）を設置し、関係者間の情報共有、連携等を図りながら、海岸漂着物の回収処理、実態調査、発生抑制対策等を実施してきた。

一方、県内海岸には、毎年海岸漂着物が漂着する現況にあり、海岸における良好な景観及び環境の保全を図るため、今後も継続して海岸漂着物対策を実施していく必要がある。

本業務では、県内の海岸における海岸漂着物の漂着状況を確認するための組成調査及びマイクロプラスチックの調査及び分析等を実施する。

3. 調査項目

本調査の実施項目は以下のとおりである。

1. 海岸漂着ごみ組成調査

- (1) 海岸漂着物の回収・分析・測定
- (2) 特徴的な海岸漂着物
- (3) 過年度調査結果との比較

2. マイクロプラスチック調査及び分析

4. 海岸漂着ごみ組成調査

4.1 調査方法

4.1.1 海岸漂着物の回収・分析・測定

海岸漂着ごみ組成調査における調査方法は、環境省作成の「地方公共団体向け漂着ごみ組成調査ガイドライン」（以下、「環境省ガイドライン」とする。）に基づき実施した。海岸に幅 50m の調査枠を設置し、調査回毎に同じ位置で海岸漂着物等の回収を行い、その種類や漂着量を記録した。また特徴的な海岸漂着物を選定し、それらについては生産国等を分析した。また、県内広域に渡る漂着量の推計方法及び推計方法に基づく漂着物の分類項目については、令和元年度沖縄県海岸漂着物等地域対策推進事業で実施したモニタリング調査の方法（以下、「沖縄県モニタリング調査手法」とする。）に準じた。

4.1.2 調査枠の設定

調査海岸において、海岸漂着物の漂着量が平均的な箇所を選定し、海岸方向に 50m の調査枠を設定した。第 1 回目の調査時に、GPS 等を利用して調査枠の位置（緯度経度）を確定しており、本調査においても同じ位置で調査を実施した。調査枠の陸方向の範囲は、調査時の汀線から植生・堤防・傾斜地等の際までとした。

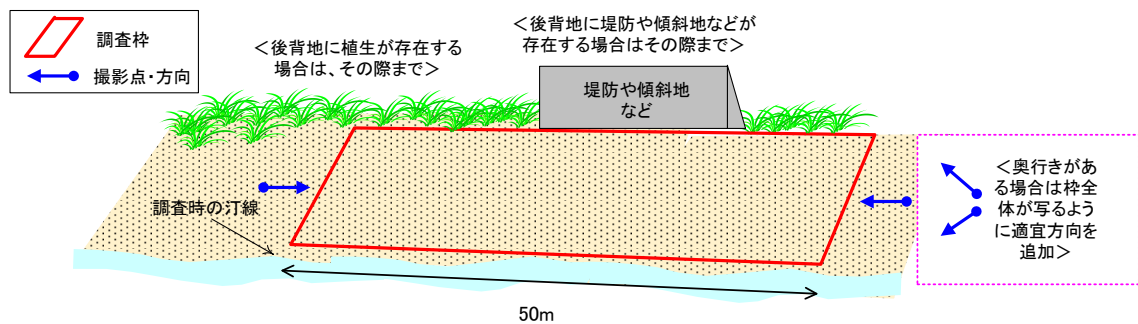


図 4.1-1 調査枠の模式図

4.1.3 海岸漂着物の回収・分類・測定調査

調査枠において、直径又は長さ 1cm 以上の海岸漂着物を全て回収した。回収した海岸漂着物等は、図 4.1-2 に示す「環境省ガイドライン」分類項目及び図 4.1-4 に示す「沖縄県モニタリング調査手法」分類項目に従って分類し、重量と容量を測定した。また、調査枠に隣接する位置に対照枠（幅 50m）を設置し、写真撮影を行った。

なお、調査範囲に植生等がある場合は、植物を引き抜いたり、植生内にむやみに立ち入らないよう配慮した。特に環境保全上の価値が高い動植物等が確認された場合は、その取り扱いに留意し、調査範囲が自然公園に含まれる場合には、「自然公園法」等の関連諸法令を遵守した。

漂着ごみ データシート①

都道府県名: _____

実施者: _____

調査海岸: _____

調査実施日: _____ 年 _____ 月 _____ 日 ~ _____ 月 _____ 日

調査開始時刻: _____ 時 _____ 分

調査終了時刻: _____ 時 _____ 分

回収作業人数: _____ 人

調査海岸の奥行き: _____ m

海岸基質: ☐ 砂浜 ☐ 礫浜 ☐ 磯浜 ☐ その他(_____)

調査地点 中心点: N _____ E _____

※小数点第2位まで記載(例:N 35.00、E 135.00)

清掃: ☐ 3ヶ月以内に実施 ☐ 1年以内に実施

台風・豪雨: ☐ 1ヶ月以内 ☐ 3ヶ月以内

重機の使用: ☐ 無 ☐ 有 (バックホウ ☐ 台、ユニック ☐ 台 その他(_____))

奥行き方向の回収範囲 ☐ 全範囲 ☐ 一部範囲 (_____ m)

大分類	必須項目	個数	容積(L) ※	重量(kg) ※
プラスチック	ボトルのキャップ、ふた			
	ボトル	飲料用(ペットボトル) < 1L		
		その他のプラボトル < 1L		
		飲料用(ペットボトル) ≥ 1L		
		その他のプラボトル 類 ≥ 1L		
	ストロー			
	マドラー、フォーク、ナイフ、スプーン等			
	食品容器(ファーストフード、コップ、ランチボックス、それに類するもの)			
	ポリ袋(不透明、透明)			
	ライター			
	シリンジ、注射器			
	テープ(荷造りバンド、ビニールテープ)			
	シートや袋の破片			
	硬質プラスチック破片			
	ウレタン			
	浮子(ブイ)(漁具)			
	ロープ・ひも(漁具)			
	アナゴ筒(フタ、筒)(漁具)			
	カキ 養殖用まめ管(長さ1.5cm)(漁具)			
	カキ 養殖用パイプ(長さ10~20cm)(漁具)			
発泡スチロール	コップ、食品包装			
	発泡スチロール 製フロート、浮子(ブイ)			
	発泡スチロールの破片			
	発泡スチロール 製包装材			
	その他			
ゴム	ゴム			
ガラス、陶器	ガラス、陶器			
金属	金属			
紙、ダンボール	紙、ダンボール			
天然繊維、革	天然繊維、革			
木(木材等)	木(木材等)			
電化製品、電子機器	電化製品、電子機器			
自然物	自然物			
その他	その他			

※ 少なくとも「個数及び容積(L)」または「個数及び重量(kg)」を計測する。可能であれば、「個数・容積(L)・重量(kg)」すべて計測する。

図 4.1-2 海岸漂着物の分類及び重量・容量の測定野帳【環境省ガイドライン】(1)

漂着ごみ データシート②

都道府県名: 宮崎県

実施者: 日本エヌ・ユー・エス株式会社

調査海岸:

調査実施日: 年 月 日 ~ 月 日

調査開始時刻: 時 分

調査終了時刻: 時 分

回収作業人数: 人

調査海岸の奥行き: 65 m

海岸基質: 砂浜 礫浜 礫浜 その他 ()

調査地点 中心点: N 31.888806 E 131.457417

※ 小数点第2位まで記載(例: N 35.00, E 135.00)

清掃: 3ヶ月以内に実施 1年以内に実施

台風・豪雨: 1ヶ月以内 3ヶ月以内

重機の使用: 無 有 (バックホウ 台、ユニック 台、その他 ())

奥行き方向の回収範囲: 全範囲 一部範囲 m

大分類	必須項目	オプション項目	個数	容積(L) ※	重量(kg) ※	
プラスチック	ボトルのキャップ、ふた	ボトルのキャップ、ふた				
	ボトル	飲料用(ペットボトル) < 1L	飲料用(ペットボトル) < 1L			
		その他のプラボトル < 1L	その他のプラボトル < 1L			
		飲料用(ペットボトル) ≥ 1L	飲料用(ペットボトル) ≥ 1L			
		その他のプラボトル 類 ≥ 1L	その他のプラボトル 類 ≥ 1L			
	ストロー	ストロー				
	マドラー、フォーク、ナイフ、スプーン等	マドラー、フォーク、ナイフ、スプーン等				
	食品容器(ファーストフード、コップ、ランチボックス、それに類するもの)	カップ、食器				
		食品容器				
	ポリ袋(不透明、透明)					
		食品の容器包装				
		レジ袋				
		その他プラスチック袋				
	ライター	ライター				
	シリンジ、注射器	シリンジ、注射器				
	テープ(荷造りバンド、ビニールテープ)	テープ(荷造りバンド、ビニールテープ)				
	シートや袋の破片	シートや袋の破片				
	硬質プラスチック破片	硬質プラスチック破片				
	ウレタン	ウレタン				
	浮子(ブイ)(漁具)	浮子(ブイ)(漁具)				
	ロープ、ひも(漁具)	ロープ、ひも(漁具)				
	アナゴ筒(フタ、筒)(漁具)	アナゴ筒(フタ、筒)(漁具)				
	カキ養殖用まめ管(長さ15cm)(漁具)	カキ養殖用まめ管(長さ15cm)(漁具)				
	カキ養殖用パイプ(長さ10~20cm)(漁具)	カキ養殖用パイプ(長さ10~20cm)(漁具)				
	漁網(漁具)	漁網(漁具)				
	その他の漁具(漁具)					
		釣りのルアー・浮き				
		かご漁具				
		釣り糸				
		その他の漁具				
	その他					
		たばこ吸殻(フィルター)				
		生活雑貨(歯ブラシ等)				
	花火					
	玩具					
	プラスチック梱包材					
	6バックホルダー					
	苗木ポット					
	分類に無いもので多数見つかった場合には記載()					
	その他					
発泡スチロール	コップ、食品容器					
		食品容器(発泡スチロール)				
		コップ、食器(発泡スチロール)				
	発泡スチロール製フロート、浮子(ブイ)	発泡スチロール製フロート・浮子(ブイ)				
	発泡スチロールの破片	発泡スチロールの破片				
	発泡スチロール製包装材	発泡スチロール製包装材				
	その他					
	分類に無いもので多数見つかった場合には記載()					
	その他					

※ 少なくとも「個数及び容積(L)」または「個数及び重量(kg)」を計測する。可能であれば、「個数・容積(L)・重量(kg)」すべて計測する。

図 4.1-2 海岸漂着物の分類及び重量・容量の測定野帳【環境省ガイドライン】(2)

大分類	必須項目	オプション項目	個数	容積(L) ※	重量(kg) ※
ゴム	ゴム				
		タイヤ			
		玩具、ボール			
		風船			
		靴(サンダル、靴底含む)			
		ゴムの破片			
ガラス、陶器	ガラス、陶器	分類に無いもので多数見つかった場合には記載()			
		その他			
		建築資材			
		食品容器			
		ガラス、陶器の破片			
金属	金属	食品以外容器			
		コップ、食器			
		電球			
		蛍光管			
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載()			
		その他			
紙、ダンボール	紙、ダンボール				
		ビンのかた、キャップ、プルタブ			
		アルミの飲料缶			
		スチール製飲料用缶			
		金属製コップ、食器			
		フォーク・ナイフ・スプーン等			
天然繊維、革	天然繊維、革	その他の缶(ガスボンベ、ドラム缶、バケツ等)			
		金属片			
		ワイヤー、針金			
		金属製漁具			
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載()			
		その他			
電化製品 電子機器	電化製品、電子機器	紙製コップ、食器			
		タバコのパッケージ(フィルム、銀紙を含む)			
		花火			
		紙袋			
		食品包装材			
		紙製容器(飲料用紙パック等)			
自然物	自然物	紙片(段ボール、新聞紙等を含む)			
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載()			
		その他			
		ロープ、ひも			
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載()			
木(木材等)	木(木材等)	その他			
		木材(物流用パレット、木炭等含む)			
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載()			
		その他			
電化製品 電子機器	電化製品、電子機器	電化製品、電子機器			
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載()			
		その他			
自然物	自然物	灌木(植物片を含む、径10cm未満、長さ1m未満)			
		流木(径10cm以上、長さ1m以上)			
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載()			
		その他			
その他	その他				
		その他1()			
		その他2()			
		その他3()			

※ 少なくとも「個数及び容積(L)」または「個数及び重量(kg)」を計測する。可能であれば、「個数・容積(L)・重量(kg)」すべて計測する。

図 4.1-2 海岸漂着物の分類及び重量・容量の測定野帳【環境省ガイドライン】(3)

製造国の特定のデータシート

調査実施日： 調査地点：

ペットボトル

項目	バーコード記載/表記言語 (最初の2ケタ or 3ケタ)	製造国	個数
ペット ボ ト ル	49 or 45	日本	
	69	中国	
	880	韓国	
	471	台湾	
	46	ロシア	
	不明 (バーコード読取れず)	—	
	バーコード読取可能 (893)	ベトナム	
	バーコード読取可能 ()		
	バーコード読取可能 ()		
	日本 (漢字,ひらがな,カタカナ)	日本	
	中国・台湾 (漢字)		
	韓国 (ハングル)		
	ロシア (ロシア語)		
	不明 (文字読取れず)	—	
	(表記言語) _____		
	(表記言語) _____		
	(表記言語) _____		

ペットボトルのキャップ

項目	表記言語	個数
ペ ツ ト ボ ト ル の キ ャ ッ プ	日本 (漢字,ひらがな,カタカナ)	
	中国・台湾 (漢字)	
	韓国 (ハングル)	
	ロシア (ロシア語)	
	不明 (文字読取れず)	
	(表記言語) 英語	
	(表記言語) フランス	
	(表記言語) 何語かわからず	
	(表記言語) _____	
	(表記言語) _____	
	(表記言語) _____	
	(表記言語) _____	
	(表記言語) _____	
	(表記言語) _____	
	(表記言語) _____	
	(表記言語) _____	
	(表記言語) _____	

漁業用の浮子

項目	表記言語	個数
漁 業 用 の 浮 子	なし	
	日本 (漢字,ひらがな,カタカナ)	
	中国・台湾 (漢字)	
	韓国 (ハングル)	
	ロシア (ロシア語)	
	不明 (文字読取れず)	
	(表記言語) _____	
	(表記言語) _____	
	(表記言語) _____	
	(表記言語) _____	
	(表記言語) _____	
	(表記言語) _____	
	(表記言語) _____	
	(表記言語) _____	
	(表記言語) _____	
	(表記言語) _____	
	(表記言語) _____	

図 4.1-3 製造国の特定のデータシート【環境省ガイドライン】

調査地域	調査地点		記入者	
調査日	調査時間		作業員人数	

素 材	種 類	容量	重量	ラベル有	ラベル無			
1. プラスチック類	ペットボトル	1000cc 未満	ℓ	kg	個	個		
		1000cc 以上	ℓ	kg	個	個		
	ブイ	直径 20cm未満	ℓ	kg	水色(大)	水色(小)	オレンジ	その他(ウレタン等)
		直径 20cm以上	ℓ	kg	黒色	赤・黄・橙色	その他	
	漁具・漁網		ℓ	kg				
	その他のプラスチック(破片等)		ℓ	kg				
	ライター(重量・容量はその他に含む)			個	全量サンプル サンプル袋に個数を明記すること			
	日本製の農業用の容器・袋類(重量・容量はその他に含む)			個				
	日本製の飲食用の容器・袋類(重量・容量はその他に含む)			個				
	ポリタンク(重量・容量はその他に含む)			韓国	その他	不明		
	ビニール製イベント用風船(重量・容量はその他に含む)			中国(羊)	台湾	不明		
	2. 発泡スチロール類	ブイ		ℓ	kg	↑ 結柄がわかるよう写真撮影(すべて)		
その他の発泡(破片等)			ℓ	kg				
日本製の飲食用の容器(重量・容量はその他に含む)				個				
3. ゴム類			ℓ	kg				
4. 紙類			ℓ	kg				
5. 布類			ℓ	kg				
6. ガラス・陶磁器類	電球		ℓ	kg	個	ラベルあれば 写真撮影	個	
	蛍光灯		ℓ	kg	個	ラベルあれば 写真撮影	個	
	電球・蛍光灯合計		ℓ	kg				
	その他のガラス(破片等)		ℓ	kg				
7. 金属類	飲料缶		ℓ	kg	日本	海外		
	その他の金属(破片等)		ℓ	kg	個	個		
8. 木類	加工木、パレット等(人工系)		ℓ	kg	重量未測定 の投げ込み 処置分の容量 ※重量測定時は記入しない			
	流木、灌木(自然系)		ℓ	kg				
9. 医療系廃棄物			ℓ	kg	バイアル	注射器・針	その他	
10. オイルボール・廃油・廃液			ℓ	kg	個	個	個	
11. その他 (粗大ゴミ等、具体的に)			ℓ	kg				
			ℓ	kg				

12. 大きな漂着物			
ペットボトル 生産国分析 (バーコード国番号は上3桁)			
	品名	容量	重量
その他の国は 国名またはバー コード国番号上3 桁を記入↓	日本	本	kg
	中国	本	kg
	台湾	本	kg
	韓国	本	kg
その他	不明	本	kg
その他	ペットボトル全計数合計	本	kg
その他	ペットボトル国別計数合計	本	kg

↓ 前回調査時からある漂着物は除く
(流木: 比重0.37 1L⇒0.37kg)
(漁具・漁網: 比重0.14)

図 4.1-4 海岸漂着物の分類及び重量・容量の測定野帳【沖縄県モニタリング調査手法】

4.1.4 特徴的な海岸漂着物の分析・測定

回収した海岸漂着物のうち、特徴的な海岸漂着物 6 品目（ペットボトル、飲料缶、ポリタンク、漁業用ブイ、ビニール製バルーン、電球・蛍光灯）については生産国の分析及び個数の計数を行った。特徴的な海岸漂着物の選定理由及び分析方法を表 4.1-1 に示す。

表 4.1-1 特徴的な海岸漂着物の選定理由と分析方法

品 目	選定理由	分析方法
ペット ボトル 	・県内広範囲に多数漂着 ・ラベル等で生産国の特定が可能	容量（1000cc 未満、1000cc 以上）に分け、ラベルの有無別に計数する。ラベル等の表記、バーコード及びキャップの刻印等により生産国別に分類し計数した。調査個数は回収全量または最大 100 個（※）とした。
飲料缶 	・県内広範囲に多数漂着 ・ラベル等で生産国の特定が可能	回収全量を対象とし、日本製、海外製別に計数した。
ポリタンク 	・県内広範囲に多数漂着 ・刻印等で生産国の特定が可能	回収全量を対象とし、生産国別に計数した。
漁業用ブイ 	・県内広範囲に多数漂着 ・刻印等で生産国の特定が可能	色と大きさ別に計数した。
ビニール製 バルーン 	・印字等で生産国の特定が可能	生産国別に計数した。
電球・ 蛍光灯 	・県内広範囲に多数漂着 ・刻印等で生産国の特定が可能	ラベル等の有無別に計数した。

※ 環境省第 1 期モデル調査結果及び地球環境研究総合推進費「市民と研究者が協働する東シナ海沿岸における海岸漂着ゴミ予報実験」の結果（東京大学 清野聡子助教、私信）によれば、海岸毎に 100 個程度のサンプル数で発生国の割合の把握は可能である。

4.2 調査地点及び調査時期

4.2.1 調査地域・海岸の選定方針

① 調査地域の選定

沖縄県内における海岸漂着物は、西端の与那国町から東北端の国頭村にかけてのほぼ県内全域に漂着していることが、沖縄県漂着物対策事業の概況調査において確認されている。県内の広域にわたる漂着状況を把握するため、沖縄県内を、沖縄県地域計画において対策基本方針を定めている4地域（沖縄本島地域、本島周辺離島地域、宮古諸島地域、八重山諸島地域）に分けた。本年度はこのうち沖縄本島地域と宮古諸島地域において調査を実施した。

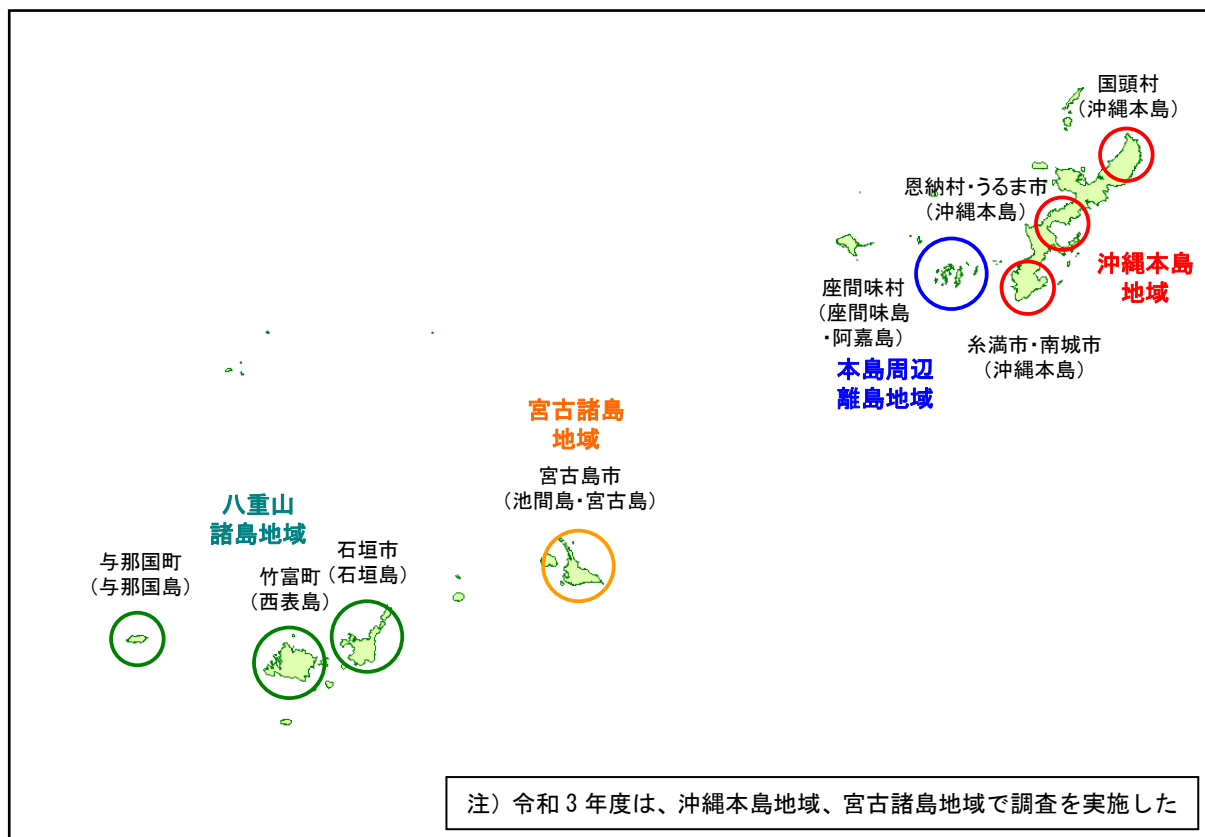


図 4.2-1 調査地域

② 調査対象海岸の選定

調査海岸の選定にあたっては、以下の条件を踏まえた。

●季節風等の影響把握

県内において過去に実施された海岸漂着物等に係る調査研究では、季節風が漂着状況に大きな影響を与え、季節や海岸の向きにより漂着状況が異なることが確認されている。このため、調査地域内の東西南北それぞれの方位に位置する海岸のうち、年間を通して調査可能な海岸を選定した。

●調査の継続性の重視及び調査結果の質

海岸漂着物処理推進法や同法に基づく国の基本計画においては、地方公共団体が継続して実態を把握するよう求めていることから、調査対象海岸は、継続調査が可能な海岸である必要がある。また、観光客や地域住民、車輛等が頻繁に出入りする海岸や、定期的に海岸清掃活動を実施している海岸は、海岸漂着物以外のポイ捨て等のごみ量の増加や、清掃活動による回収により本調査データの確実性が損なわれる可能性がある。

以上のことから、海岸の選定にあたっては、以下の点に留意した。

- a. 交通手段が確保でき、運搬コストが低減できる海岸。
- b. 海岸までのアクセス路があり、作業員の安全と海岸からの海岸漂着物搬出ルートが確保できる海岸
- c. 住民団体、NPO 等を通じて調査に参加する地域住民の確保が可能な地域の海岸
- d. 観光客や地域住民の利用が少なく、定期的な海岸清掃が行われていない海岸
- e. ウミガメ、鳥類、海産哺乳類、海浜植生等、保護上重要な動植物や海岸環境に可能な限り影響を及ぼさない海岸
- f. 平成 22 年度から沖縄県が実施している沖縄県海岸漂着物対策事業における調査対象海岸であり、海岸漂着物量の経年変化の検討が可能な海岸

③ 調査地域及び調査対象海岸

調査対象海岸の一覧を表 4.2-1 表 4.2-1 調査海岸位置を図 4.2-3 に示す。

調査対象海岸は、本島周辺離島地域の 6 海岸、宮古諸島地域の 4 海岸（宮古島 3 海岸・池間島 1 海岸）の計 10 海岸とした。

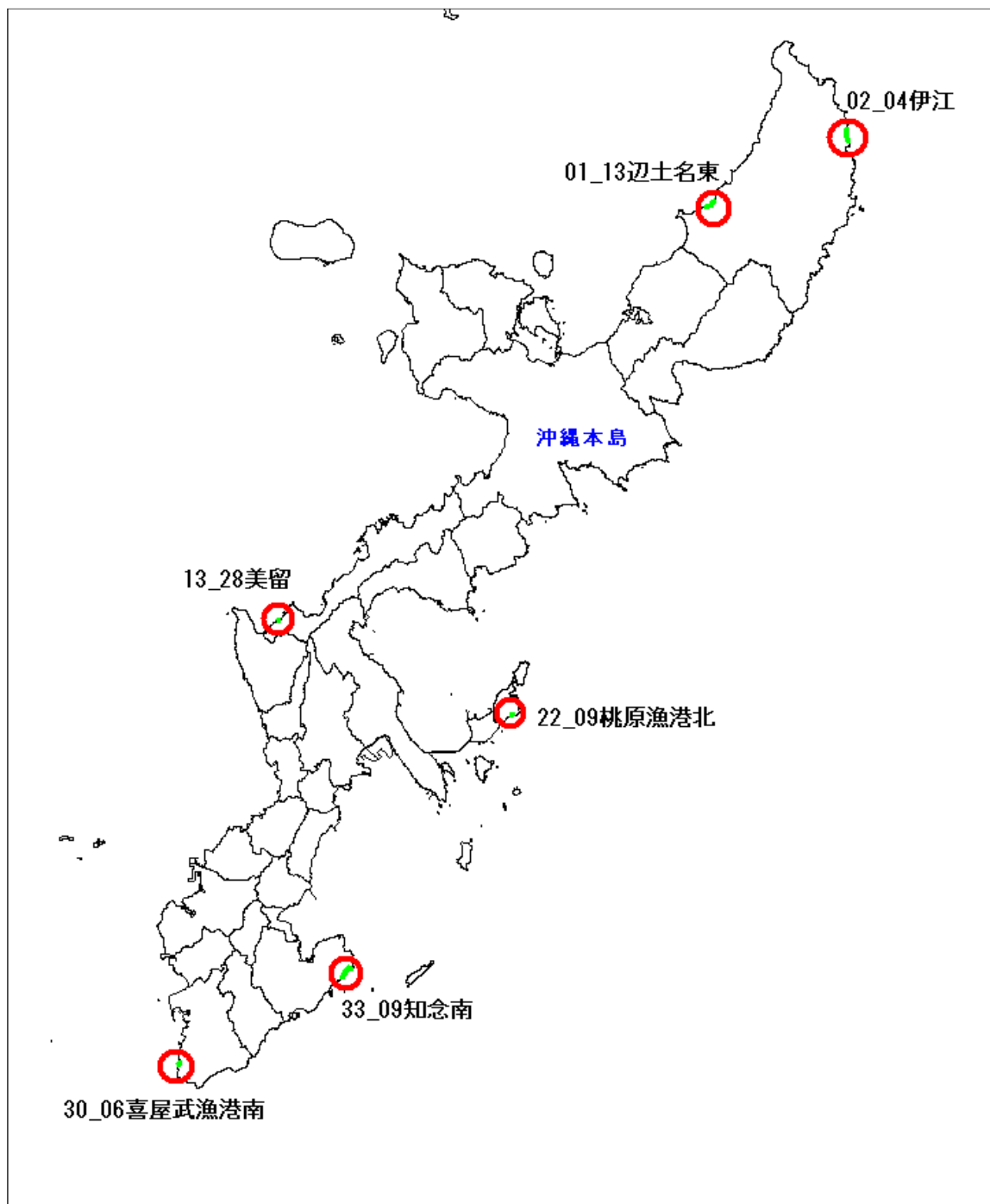
表 4.2-1 調査地域及び海岸

地域 区分	区域番号_重点対策区域名	島名	海岸方向	海岸番号_海岸名	調査年度										自然公園 の指定		
					H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28		R02	R03			
沖縄本島	01_ 国頭村西部海岸一帯	沖縄本島	東シナ海	13_ 辺土名東													沖縄海岸 国定公園
	02_ 国頭村東部海岸一帯		太平洋	04_ 伊江													
	13_ 恩納村海岸一帯		東シナ海	28_ 美留													沖縄海岸 国定公園
	22_ うるま市宮城島平安座島海岸一帯		太平洋	09_ 桃園漁港北②													
	30_ 糸満市海岸一帯		東シナ海	08_ 喜屋武南													沖縄戦跡 国定公園
			東シナ海	06_ 喜屋武漁港南													
	33_ 南城市海岸一帯		太平洋	09_ 知念南													
沖縄本島 周辺離島	35_ 伊平屋島北部海岸一帯	伊平屋島	北	06_ 西クマヤ洞窟													慶良間諸島 国立公園
	40_ 伊是名島北東部海岸一帯	伊是名島	東	04_ 渡地②													
	41_ 伊是名島南部海岸一帯		南	03_ 二見ヶ浦													
			西	06_ 伊是名ビーチ西													
	51_ 座間味島海岸一帯	座間味島	北	06_ チシ西													
			東	09_ トウマ													
			南	01_ 阿真ビーチ													
52_ 阿嘉島海岸一帯	阿嘉島	西	07_ クシバル														
宮古諸島	59_ 宮古島北部海岸一帯	宮古島	北東	03_ 養殖場北													県立自然 公園
	60_ 宮古島東部海岸一帯		北東	02_ 西原海岸													
	61_ 宮古島南部海岸一帯		南	13_ 入江海岸													
	62_ 宮古島西部海岸一帯		西	01_ 前浜海岸													
	63_ 池間島海岸一帯	池間島	北	05_ カギンミ西													
	68_ 多良間島北部海岸一帯	多良間島	北	01_ アウルトゥブリ													
	69_ 多良間島東部海岸一帯		東	05_ ミツ瀬公園													
	70_ 多良間島南部海岸一帯		南	08_ アカリノカブツブリ													
	71_ 多良間島西部海岸一帯		西	05_ カシハマトツブリ													
八重山諸島	75_ 石垣島東部海岸一帯	石垣島	東	04_ 伊野田南海岸													西表石垣 国立公園
	85_ 西表島北西部海岸一帯	西表島	西	01_ 美田良浜													
	85_ 西表島北西部海岸一帯		北	11_ 星砂海岸													
	86_ 西表島北東部海岸一帯		北東	11_ 高那													
	86_ 西表島北東部海岸一帯		東	14_ 由布北													
	87_ 西表島南東部海岸一帯		南	09_ 南風見田浜													西表石垣 国立公園
	89_ 与那国島北西部海岸一帯	与那国島	西	01_ ナーマ浜													
	89_ 与那国島北西部海岸一帯		北	05_ 祖納港東													
	90_ 与那国島北東部海岸一帯		北東	01_ ツア浜													
	91_ 与那国島南部海岸一帯		南	04_ カタブル浜													

注) 1. ■ : 調査実施時期

2. 沖縄本島地域東シナ海側糸満市の「喜屋武漁港南」については、平成 22 年度より調査対象海岸であった「喜屋武南」が、平成 24 年 10 月より工事予定であることを確認したため、平成 24 年 9 月から新たに選定した。

3. 伊平屋島、伊是名島、多良間島、石垣島は、平成 24 年度に新たに選定した。

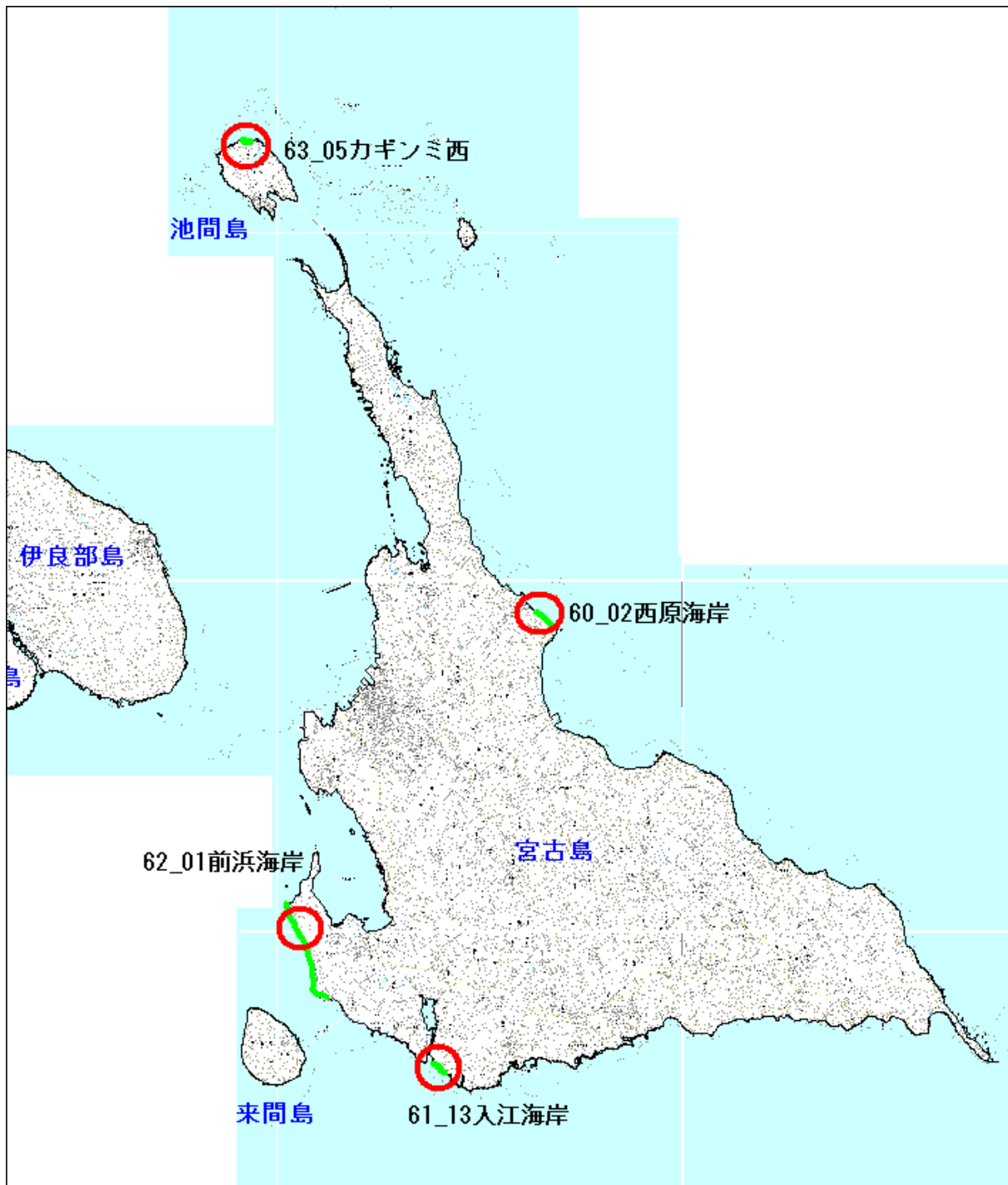


注) 各海岸の調査回は以下のとおり。

※辺土名東、美留、伊江、桃原漁港北、知念南：第1回（H22年11月）～第21回（H29年1月）、第26回（R2年11月）、第28回（R3年2月）～第31回（R3年11月）

※喜屋武漁港南：第8回（H24年9月）～第21回（H29年1月）、第26回（R2年11月）、第28回（R3年2月）～第31回（R3年11月）

図 4.2-2 調査地域及び海岸 ー沖縄本島地域ー



注) 各海岸の調査回は以下のとおり。

※カギンミ西、入江海岸、前浜海岸：第1回（H22年11月）～第23回（R2年2月）、第31回（R3年11月）～第32回（R4年1月）

※西原海岸：第4回（H23年9月）及び第5回（H23年11月）、第7回（H24年5月）～第23回（R02年2月）、第31回（R3年11月）～第32回（R4年1月）

図 4.2-3 調査地域及び海岸 一宮古諸島地域一

4.2.2 調査時期

平成 22 年 11 月より継続実施されているモニタリング調査の実施時期を表 4.2-2、本調査の調査日一覧を表 4.2-3、表 4.2-4 に示す。本年度調査は令和 3 年 6 月から令和 4 年 1 月の計 4 回実施した。

表 4.2-2 モニタリング調査実施時期

年	調査月							
	1 月	2 月	3 月	5 月	6 月	9 月	11 月	12 月
平成 22 年							第 1 回	
平成 23 年	第 2 回			第 3 回		第 4 回	第 5 回	
平成 24 年	第 6 回			第 7 回		第 8 回	第 9 回	
平成 25 年	第 10 回		第 11 回				第 12 回	
平成 26 年	第 13 回			第 14 回		第 15 回	第 16 回	
平成 27 年	第 17 回						第 18 回	
平成 28 年	第 19 回						第 20 回	
平成 29 年	第 21 回							
平成 30 年								
令和元年								第 22 回
令和 2 年		第 23 回			第 24 回	第 25 回	第 26 回	第 27 回
令和 3 年		第 28 回			第 29 回	第 30 回	第 31 回	
令和 4 年	第 32 回							

注) 赤文字は本年度の調査時期を示す。

表 4.2-3 第 29 回調査実施日

調査地域	調査日	第 28 回調査 からの経過日数 (日)
沖縄本島 (沖縄本島地域)	令和 3 年 6 月 14 日～16 日	130～133

表 4.2-4 第 30 回調査実施日

調査地域	調査日	第 29 回調査 からの経過日数 (日)
沖縄本島 (沖縄本島地域)	令和 3 年 9 月 13～15 日	91

表 4.2-5 第 31 回調査実施日

調査地域	調査日	前回調査 からの経過日数 (日)
沖縄本島 (沖縄本島地域)	令和 3 年 11 月 16、17、19 日	63～67
宮古島・池間島 (宮古諸島地域)	令和 3 年 11 月 20、21 日	633

注) 前回調査は本島地域が第 30 回調査、宮古諸島地域は第 23 回調査

表 4.2-6 第 32 回調査実施日

調査地域	調査日	第 31 回調査 からの経過日数（日）
宮古島・池間島（宮古諸島地域）	令和 4 年 1 月 29、30 日	70

4.2.3 調査実施体制

作業員 2 名（当企業体）及び地域住民 4～15 名の体制で実施した。

4.2.4 回収した海岸漂着物の適正な処理

回収した海岸漂着物は、調査実施者の責任において、廃棄物処理法や地元自治体の廃棄物処理計画及び指導に従って適正に処理を行った。

4.2.5 調査結果の整理方法

① 環境省ガイドライン

環境省ガイドライン調査結果については、調査回別、海岸別に個数、重量、容量を取りまとめ、季節・海岸ごとに漂着量を比較した。

② 沖縄県モニタリング調査手法

(a) 重量・容量の整理方法

漂着物の重量、容量については、以下の 4 種類の整理を行った。沖縄県モニタリング調査手法による重量、容量の整理結果は資料編に示した。

●素材別漂着量

海岸漂着物分類表（図 4.1-4）の素材別の漂着量

●木類を除く素材別漂着量

海岸漂着物分類表における素材別の漂着量のうち、漂着量のもっとも多い木類を除いた漂着物の漂着量

●プラスチック類に注目した漂着量

プラスチック類の漂着量をペットボトル、漁業用ブイ、漁具・漁網、その他プラスチックの種類別に細分化した漂着量

●木類を除くプラスチック類に注目した漂着量

木類を除いた素材別の漂着量のうち、プラスチック類の漂着量をペットボトル、漁業用ブイ、漁具・漁網、その他プラスチックの種類別に細分化した漂着量

(b) 沖縄県モニタリング調査における解析手法

●365日あたりの漂着量

過年度調査における11月調査から翌年11月までの調査結果を用いて、365日あたりの漂着量を推計した。本年度は沖縄本島地域の令和2年12月調査（第27回調査）から令和3年11月（第31回調査）までの調査結果を用いて365日あたりの漂着量を算出した。

●60日あたりの漂着量

平成22年度からのモニタリング調査結果を用いて、60日あたりの漂着量を算定した。

1回の調査における漂着量は、前回調査後からの蓄積量と考えられるため、過年度調査における11月調査から翌年1月までの調査結果は、冬季の約60日間あたりの漂着物の漂着量と考えられる。本年度は宮古諸島地域の令和3年11月（第31回調査）から令和4年1月（第32回調査）の調査結果を用いて60日あたりの漂着量を算出した。宮古諸島地域の冬季60日あたりの漂着量調査は、平成22年度から平成28年度まで毎年度と、令和元年度にも算出しており、本年度の調査結果とあわせて9年度分の漂着量の把握が可能である（表4.2-7）。

●海岸別の漂着量の整理

沖縄本島地域と宮古諸島地域の海岸ごとに365日あたり、60日あたりの漂着量を算出した。

●地域別の漂着量の整理

平成21～23年度沖縄県海岸漂着物対策事業（以下、「沖縄県事業」という。）において実施した海岸漂着物の現存量調査では、目視踏査可能な県内873海岸を対象とし、海岸毎に海岸方位及び海岸長等の調査を実施した。これにより地域ごとの方位別の海岸延長が推計されている。本調査では、本島周辺離島、宮古諸島、八重山諸島の各地域において、方位別に調査対象海岸を選定し、本調査で得られた海岸漂着量を同地域・同方位の海岸延長に引き伸ばして各地域の海岸漂着物量を推計した。調査対象海岸の方位と異なる方位の海岸については、北東であれば北向きと東向きの調査対象海岸の海岸漂着量の中間値を使用するなど、より条件の近い方位の調査対象海岸の漂着量を使用した。

また、湾内の海岸は、湾口の方位が海岸漂着物の漂着量に影響を与えると考えられることから、湾口の方位を海岸の方位とする。

- a. 本島周辺離島地域は、座間味村の4調査海岸（東・西・南・北の4方位）の調査結果を同方位の海岸延長で引き伸ばし、市町村別・島別の漂着量を推計する。
- c. 宮古諸島地域は、4調査海岸（北東・西・南・北の4方位）の調査結果を同方位の海岸延長で引き伸ばし、市町村別・島別の漂着量を推計する。東向きの海岸の漂着量の推計には、北東向きの調査海岸の結果を使用する。
- d. 八重山諸島地域のうち、与那国島では、4調査海岸（北東・西・南・北の4方位）の調査結果を同方位の海岸延長で引き伸ばし、市町村別・島別の漂着量を推計する。
- e. 与那国島を除く八重山諸島地域は、西表島の4調査海岸（北東・西・南・北）および石垣島の1調査海岸（東）の調査結果を同方位の海岸延長で引き伸ばし、市町村別・島別の漂着量を推計する。

●特徴的な海岸漂着物

特徴的な海岸漂着物については、各海岸の製造国別漂着物の分布について比較を行った。

表 4.2-7 漂着量の整理 (365 日、60 日あたりの漂着量)

	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	
												第 1 回	リセット
平成 22 年度		第 2 回				第 3 回	平成 23 年度		第 4 回		第 5 回		365 日あたり漂着量
平成 23 年度		第 6 回				第 7 回	平成 24 年度		第 8 回		第 9 回		
平成 24 年度		第 10 回		第 11 回								第 12 回	
平成 25 年度		第 13 回				第 14 回	平成 25 年度		第 15 回		第 16 回		
平成 26 年度		第 17 回					平成 26 年度				第 18 回		
平成 27 年度		第 19 回										第 20 回	
平成 28 年度		第 21 回											
平成 29 年度													
平成 30 年度													
令和元年度	第 22 回		第 23 回				第 24 回		第 25 回		第 26 回		リセット
令和 2 年度	第 27 回		第 28 回				第 29 回		第 30 回		第 31 回		
令和 3 年度		第 32 回											

60 日あたり漂着量

注) 1. 令和元年 12 月から令和 2 年 11 月の 365 日あたりの漂着量は沖縄本島のみ算出。
 2. 令和 3 年 11 月から令和 4 年 1 月の 60 日あたりの漂着量は宮古諸島地域のみ算出。

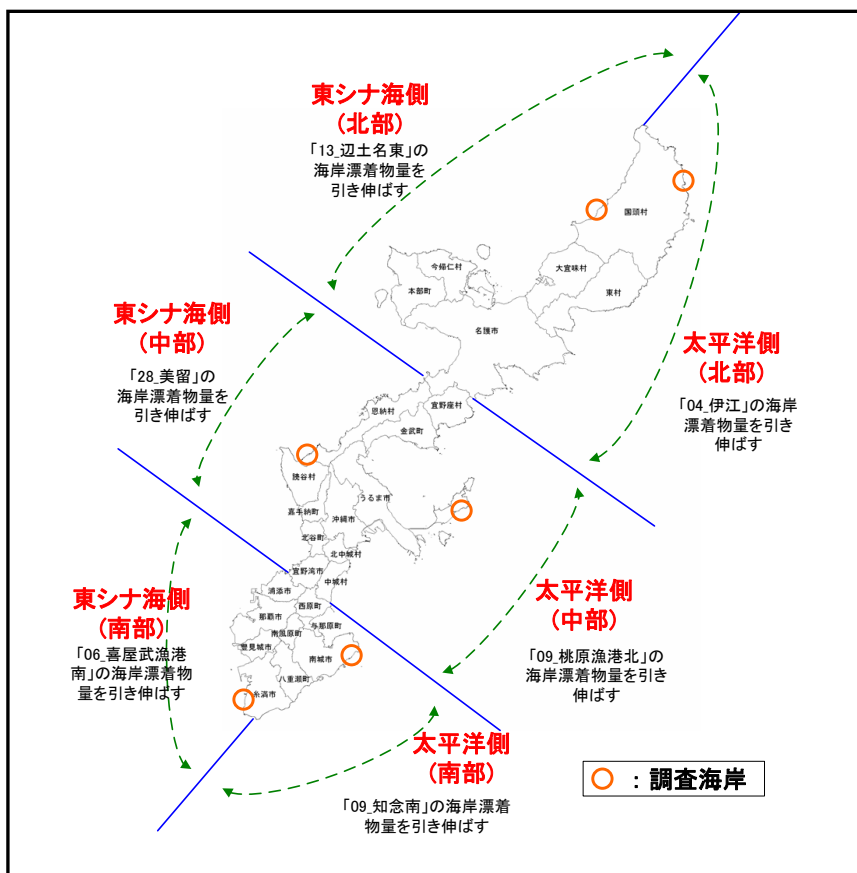


図 4.2-4 海岸漂着量推計例（沖縄本島地域）

4.3 調査結果の整理

4.3.1 海岸漂着物の回収・分類・測定

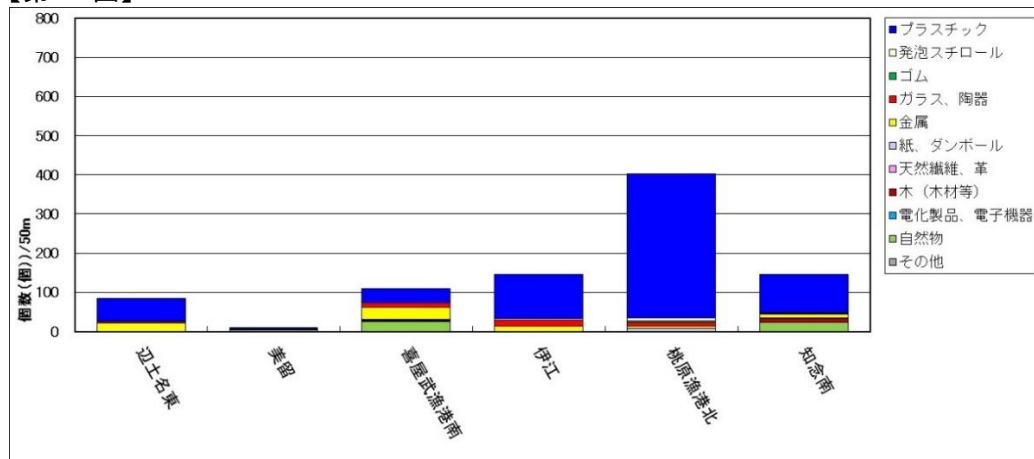
① 環境省ガイドライン

(a) 沖縄本島地域

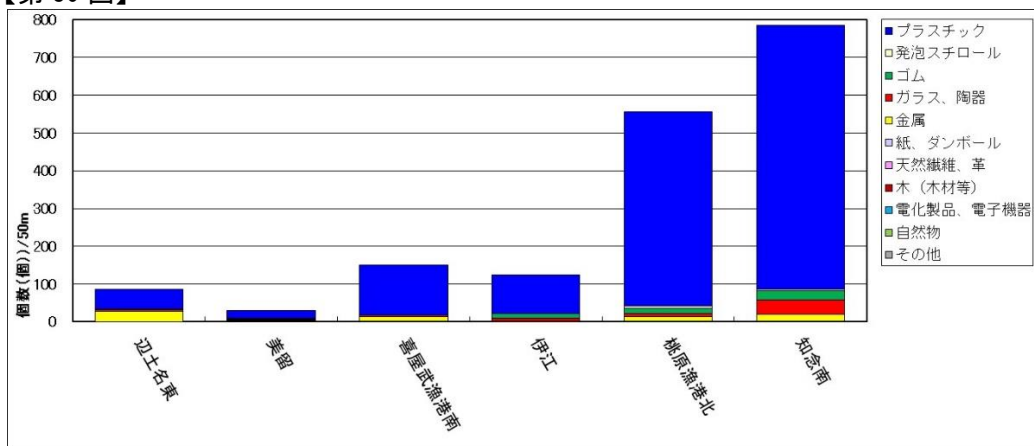
第29回から第31回調査の調査結果を図4.3-1～図4.3-3に示す。

個数、重量、容量ともに、6月（第29回）、11月（第30回）では桃原漁港北、知念南で漂着量が多く、11月（第31回）では喜屋武漁港南で漂着量がやや多かった。桃原漁港北、知念南は沖縄本島地域の太平洋中部および南部に位置する海岸である（図4.2-2）。沖縄本島地域の6月、9月の最多風向は南南西から南東、南南東であり、風向の影響を受けていると考えられる（表4.3-1）。11月は北北東の風に変化するが、本島の漂着量は全体的に減少した。

【第29回】



【第30回】



【第31回】

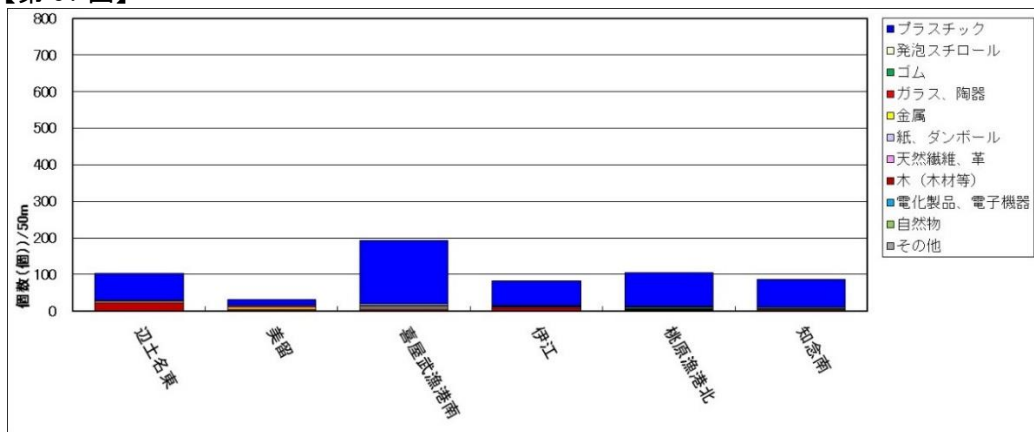
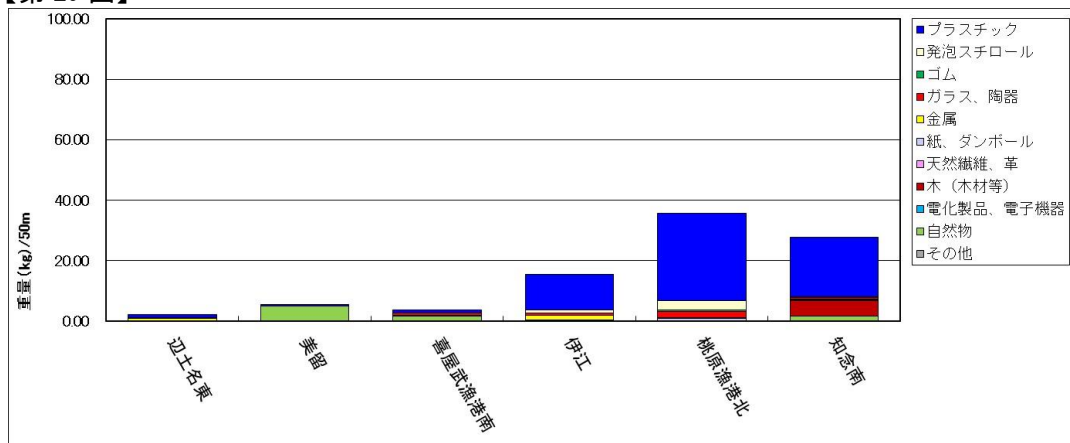
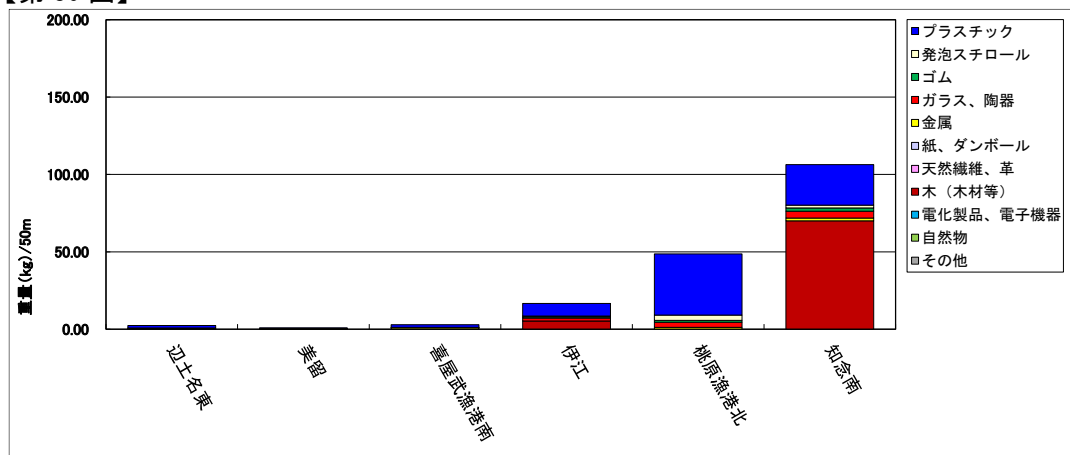


図 4.3-1 環境省ガイドライン調査（沖縄本島地域）**個数**

【第 29 回】



【第 30 回】



【第 31 回】

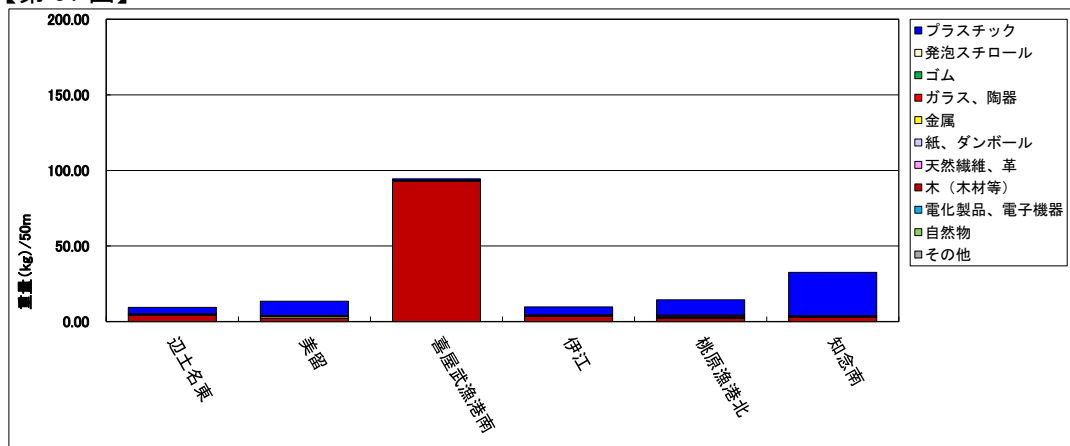
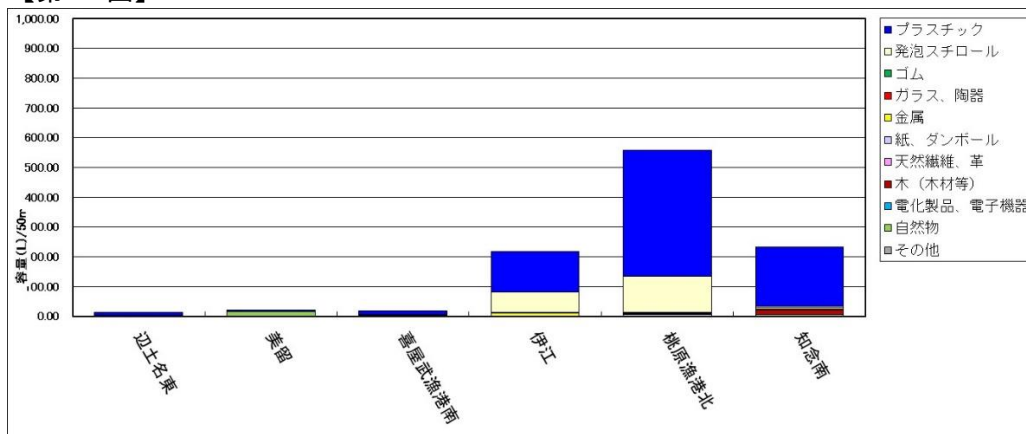
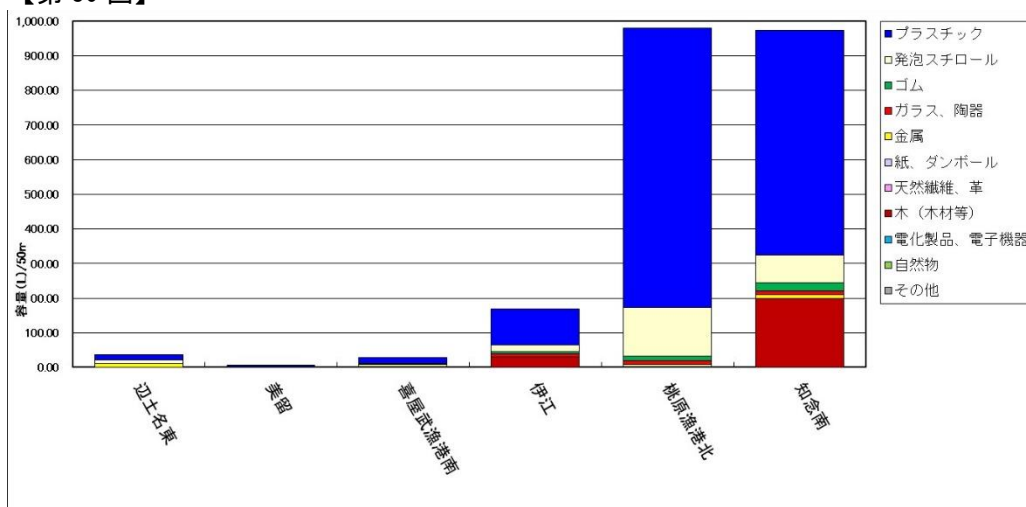


図 4.3-2 環境省ガイドライン調査（沖縄本島地域）重量

【第 29 回】



【第 30 回】



【第 31 回】

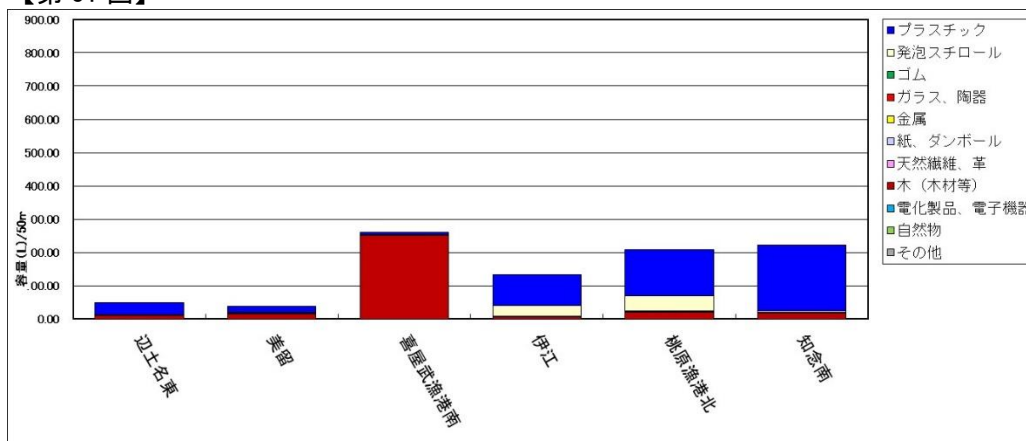


図 4.3-3 環境省ガイドライン調査（沖縄本島地域）容量

表 4.3-1 平年値【最多風向】

統計期間：1991 年～2020 年

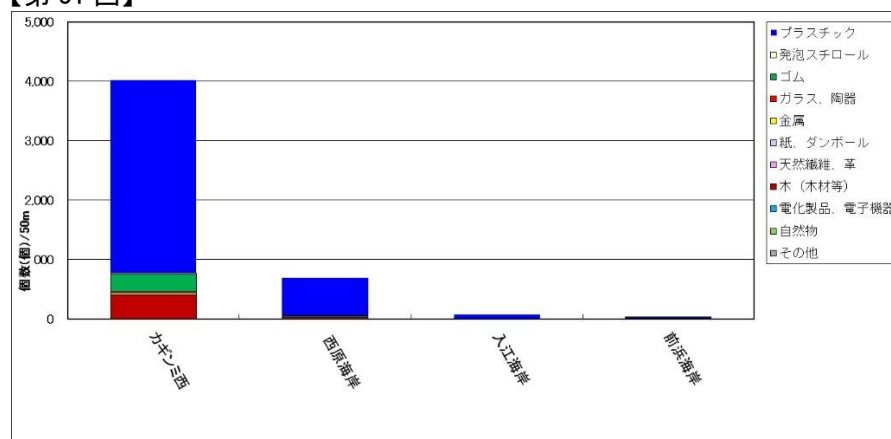
観測地点	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
那覇 气象台	北北東	北	北	東南東	東	南南西	南東	南東	東南東	北北東	北北東	北北東
名護 特別地方 観測所	北	北北東	北北東	北北東	北北東	南	南	南東	北北東	北北東	北北東	北北東

「過去の気象データ検索」（気象庁 HP）より作成

(b) 宮古諸島地域

第31回、第32回の調査結果を図4.3-6から図4.3-6に示す。11月から1月の調査では、カギンミ西で個数、重量、容量ともに漂着量が多かった。カギンミ西は北向きの海岸であることから、冬季の北から北北東の風による影響を受けたものと考えられる（表4.3-2）。

【第31回】



【第32回】

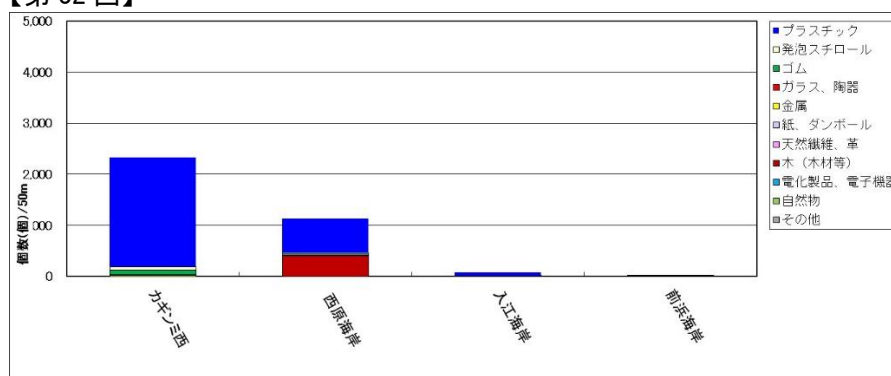
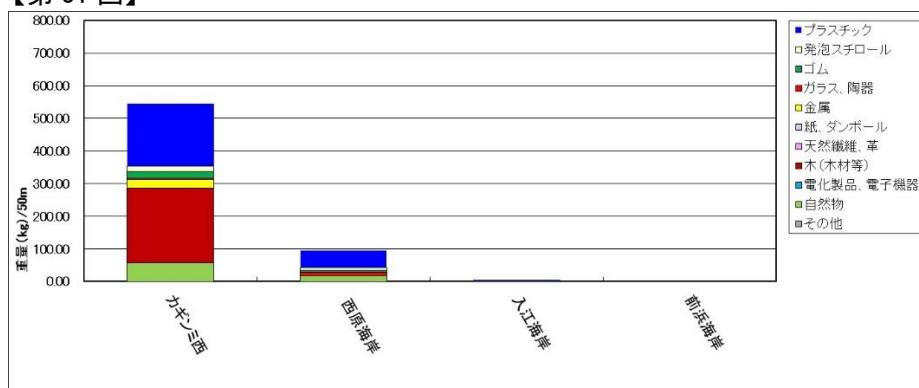


図 4.3-4 環境省ガイドライン調査（宮古諸島地域）**個数**

【第 31 回】



【第 32 回】

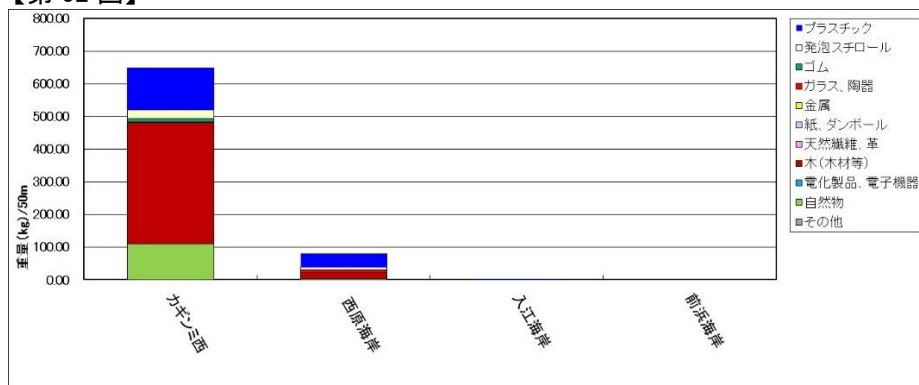
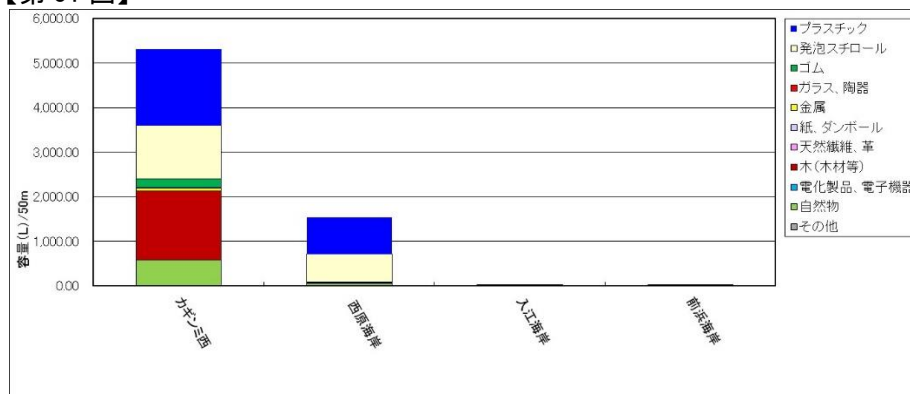


図 4.3-5 環境省ガイドライン調査（宮古諸島地域）重量

【第 31 回】



【第 32 回】

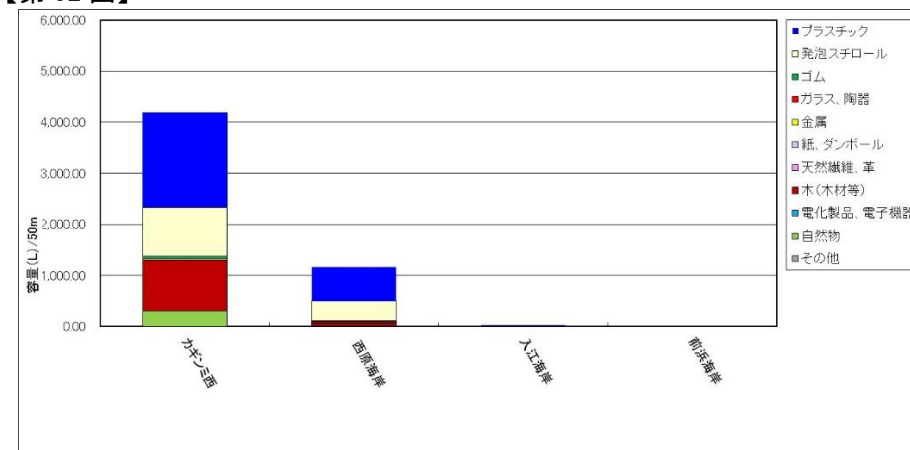


図 4.3-6 環境省ガイドライン調査（宮古諸島地域）容量

表 4.3-2 平年値【最多風向】

統計期間：1991 年～2020 年

観測地点	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
宮古島 地方気象台	北北東	北北東	北北東	南	南	南南西	南南西	南	北東	北東	北東	北北東

「過去の気象データ検索」（気象庁 HP）より作成

② 沖縄県モニタリング調査手法

(a) 海岸別の漂着量

沖縄本島地域における令和 2 年 11 月から令和 3 年 11 月の 365 日あたりの海岸漂着物の漂着重量、容量を表 4.3-7 から表 4.3-12、図 4.3-7 から図 4.3-14 に示す。

海岸別の漂着重量は太平洋南部の知念南で最も多く（169.3kg）、最も少なかった東シナ海北部の辺土名東（22.7kg）の約 7.5 倍の漂着量であった。容量では、太平洋中部の桃原漁港北で最も多く（1,811.0 L）、最も少なかった美留（66.1 L）の約 27 倍の漂着量であった。

素材別の重量では、木類の漂着量が多かったが、木類を除くとプラスチック類が大部分を占めた。容量でも同様にプラスチック類が多くを占める海岸が多かったが発泡スチロールの多い海岸も見られた。

宮古諸島地域における令和 3 年 11 月から令和 4 年 1 月における 60 日あたりの海岸漂着物の漂着重量、容量を表 4.3-5、表 4.3-6、図 4.3-15 から図 4.3-22 に示す。冬季 60 日間あたりの漂着重量は北側海岸のカギンミ西で最も多く（557.1kg）、最も少ない西側海岸の前浜海岸（0.3kg）の約 1,857 倍の漂着量であった。またその約 74 %を木類が占めた。木類を除いた重量ではプラスチック類の漂着量が多く、プラスチック類のなかでは特に漁業用ブイの漂着量が多かった。容量でもカギンミ西で最も多く（3,596.1 L）、最も少ない前浜海岸（0.6 L）の約 5,993 倍であった。またその約 44%をプラスチック類が占めた。

表 4.3-3 海岸漂着物の漂着重量調査結果（沖縄本島地域）
（令和2年11月～令和3年11月の365日あたり）

単位:kg/50m/365日

素 材	種 類	沖縄本島						合 計
		東シナ海北部	東シナ海中部	東シナ海南部	太平洋北部	太平洋中部	太平洋南部	
		辺土名東	美留	喜屋武漁港南	伊江	桃原漁港北	知念南	
1. プラスチック類	ペットボトル	2.7	0.8	0.3	4.0	15.0	9.7	63.7
	漁業用フイ	1.6	0.1	0.0	11.6	11.5	29.1	109.5
	漁具・漁網	0.6	0.1	0.3	1.0	13.3	3.3	105.9
	他プラスチック	8.2	9.7	3.5	10.7	42.1	32.9	189.0
プラスチック類合計		13.1	10.7	4.2	27.4	81.9	75.1	468.1
2. 発泡スチロール類		0.6	0.1	0.1	2.7	7.3	2.2	40.9
3. ゴム類		0.7	0.1	0.1	1.1	2.9	2.2	34.2
4. 紙類		0.0	0.0	0.1	0.3	1.0		1.4
5. 布類				0.0	0.2		0.3	0.5
6. ガラス・陶磁器類		2.0	0.8	2.1	18.5	6.7	7.0	51.9
7. 金属類		2.1	1.3	1.7	1.9	1.7	2.3	23.4
8. 木類		4.2	7.2	95.5	9.3	2.3	80.3	517.4
9. 医療系廃棄物								0.0
10. オイルボール・廃油・廃液								
11. その他(粗大ごみ等)							0.1	17.4
品目別その他(木材を除く3～11の合計)		4.8	2.2	4.1	22.0	12.4	11.8	128.8
合 計		22.7	20.2	103.8	61.4	103.9	169.3	1155.2

注 1) 数値は小数点第二位で四捨五入して表記した。

注 2) 空欄は回収がないことを、「0.0」は 0.05kg 未満を示す。

表 4.3-4 海岸漂着物の漂着容量調査結果（沖縄本島地域）
（令和2年11月～令和3年11月の365日あたり）

単位:L/50m/365日

素 材	種 類	沖縄本島					
		東シナ海北部	東シナ海中部	東シナ海南部	太平洋北部	太平洋中部	太平洋南部
		辺土名東	美留	喜屋武漁港南	伊江	桃原漁港北	知念南
1. プラスチック類	ペットボトル	32.5	4.5	1.0	97.1	563.2	338.8
	漁業用フイ	9.2	0.1	0.1	65.2	97.2	232.0
	漁具・漁網	5.6	0.3	1.3	11.5	101.5	32.9
	他プラスチック	91.2	22.4	37.2	184.0	664.5	452.5
プラスチック類合計		138.4	27.3	39.6	357.8	1426.4	1056.2
2. 発泡スチロール類		17.4	2.1	1.8	158.8	311.0	92.3
3. ゴム類		1.4	0.2	1.4	9.3	17.7	23.0
4. 紙類		0.3	0.0	0.6	1.0	6.1	
5. 布類				0.0	0.4		2.0
6. ガラス・陶磁器類		2.4	1.7	3.2	27.3	17.9	16.0
7. 金属類		15.9	2.5	10.5	10.4	11.7	14.9
8. 木類		10.1	32.4	259.2	38.2	20.2	240.0
9. 医療系廃棄物							
10. オイルボール・廃油・廃液							
11. その他(粗大ごみ等)							0.2
品目別その他(木材を除く3～11の合計)		20.0	4.3	15.7	48.5	53.4	56.1
木類を除く合計		175.9	33.8	57.1	565.2	1790.8	1204.7
合 計		186.0	66.1	316.3	603.4	1811.0	1444.6

注 1) 数値は小数点第二位で四捨五入して表記した。

注 2) 空欄は回収がないことを、「0.0」は 0.05L 未満を示す。

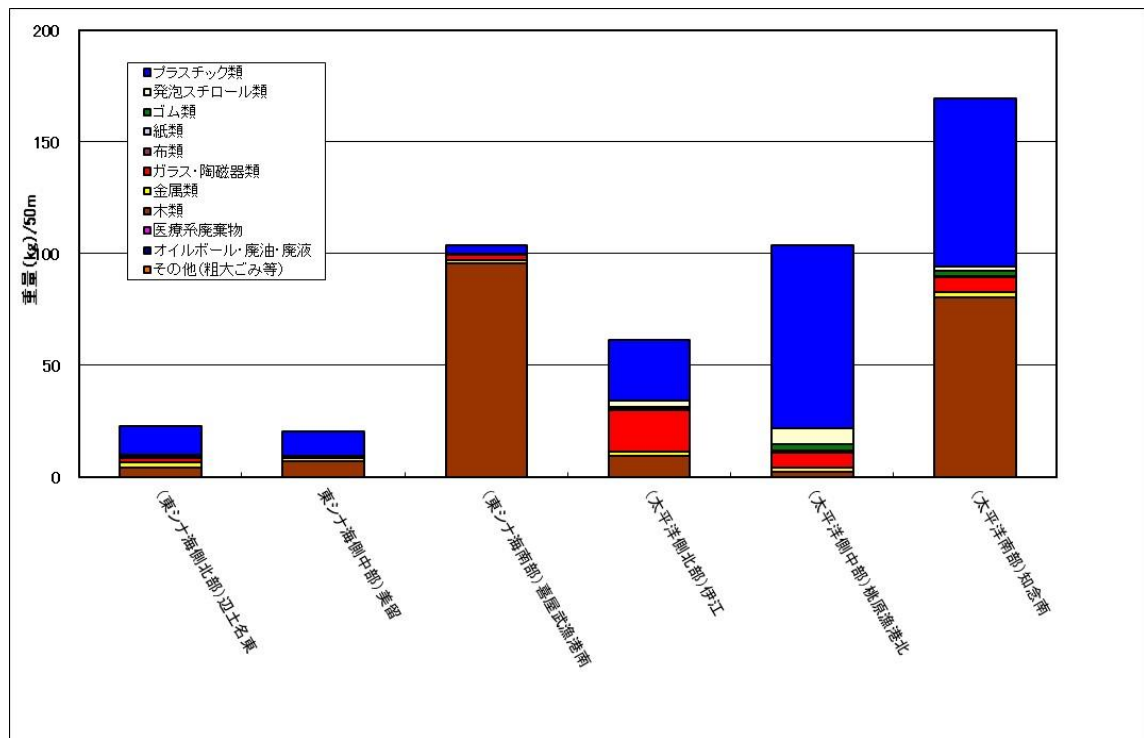


図 4.3-7 海岸漂着物の漂着重量調査結果（沖縄本島地域）
（令和2年11月～令和3年11月の365日あたり）【素材別】

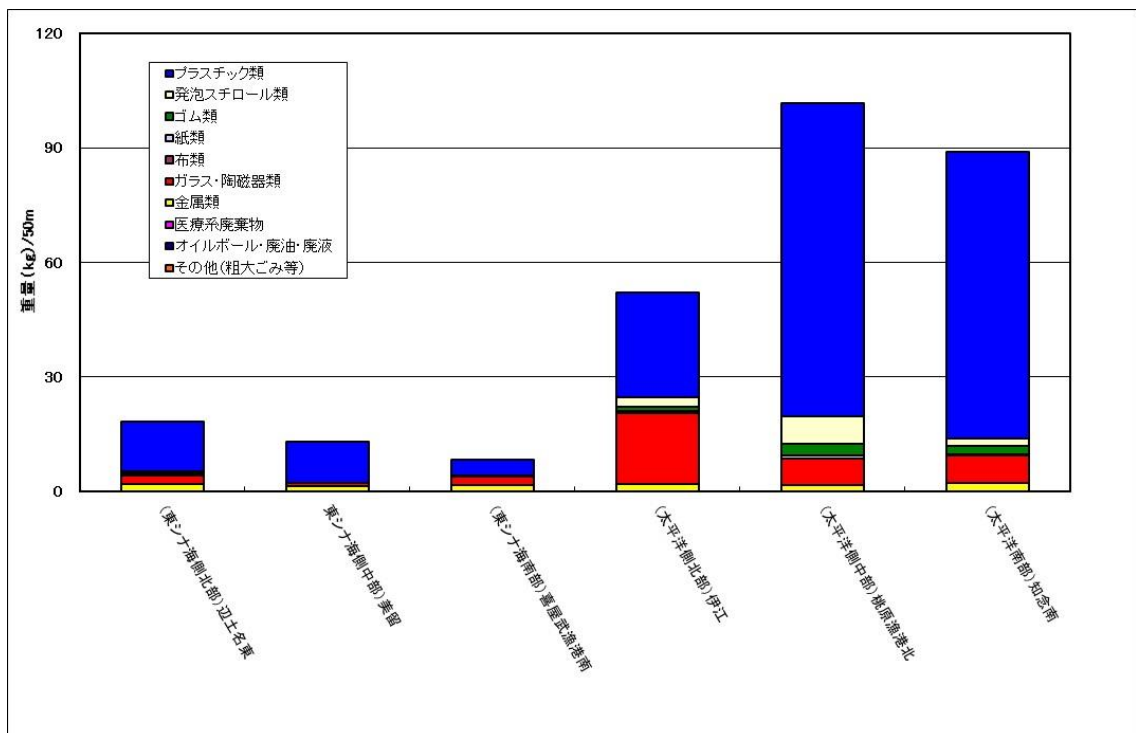


図 4.3-8 海岸漂着物の漂着重量調査結果（沖縄本島地域）
（令和2年11月～令和3年11月の365日あたり）
【素材別・木類を除く】

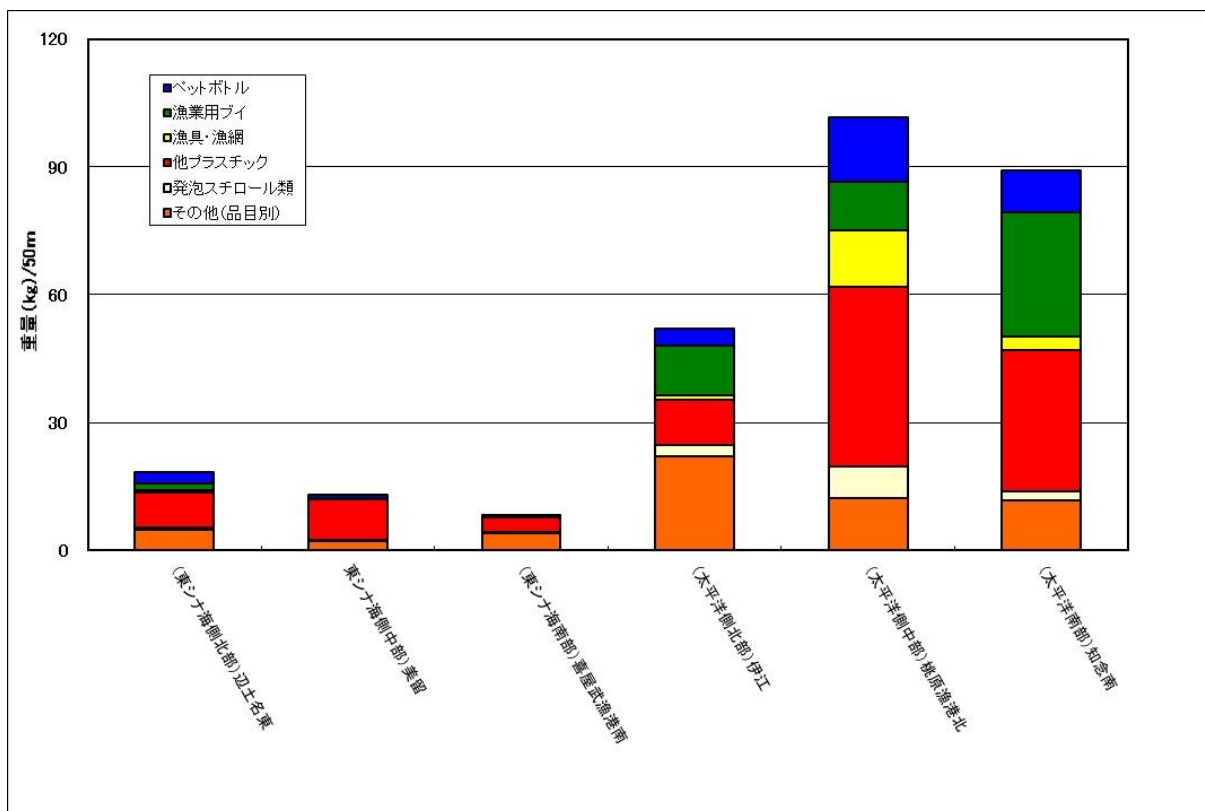


図 4.3-9 海岸漂着物の漂着重量調査（沖縄本島地域）

（令和２年１１月～令和３年１１月の３６５日あたり）

【プラスチック類に注目した種類別・木類を除く】

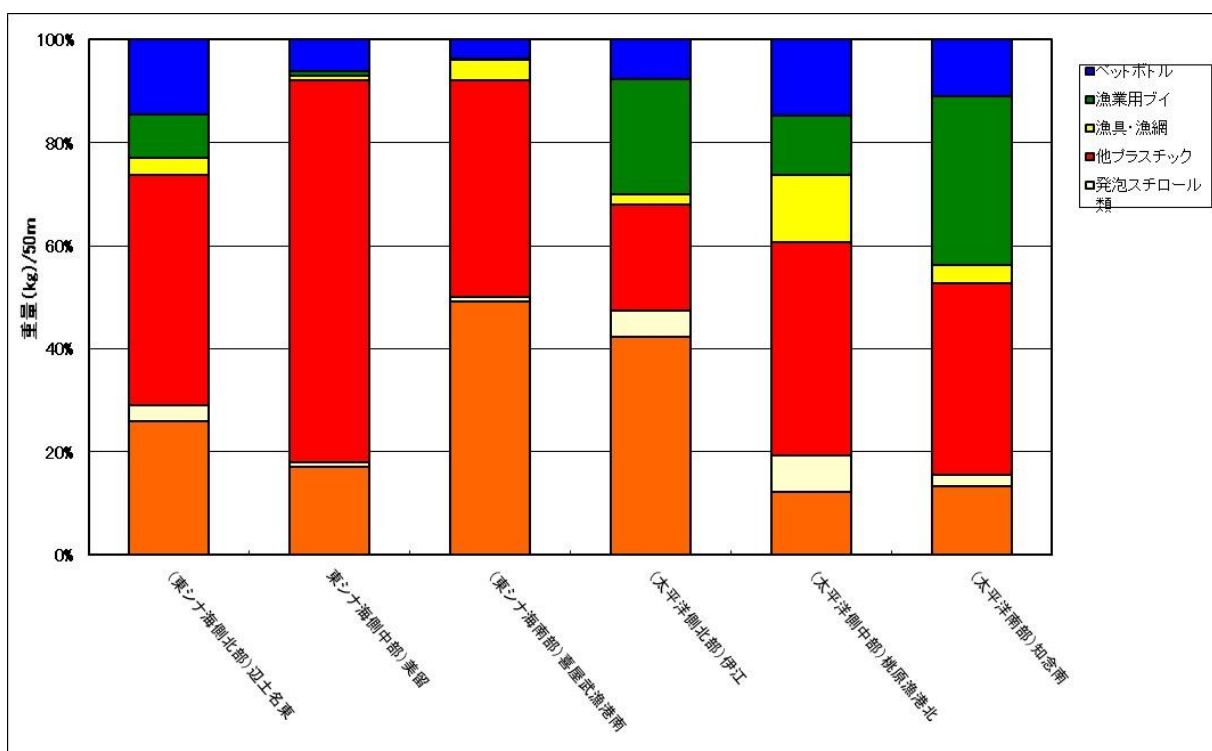


図 4.3-10 海岸漂着物の漂着重量調査結果（沖縄本島地域）

（令和２年１１月～令和３年１１月の３６５日あたり）

【プラスチック類に注目した種類別・木類を除く 割合】

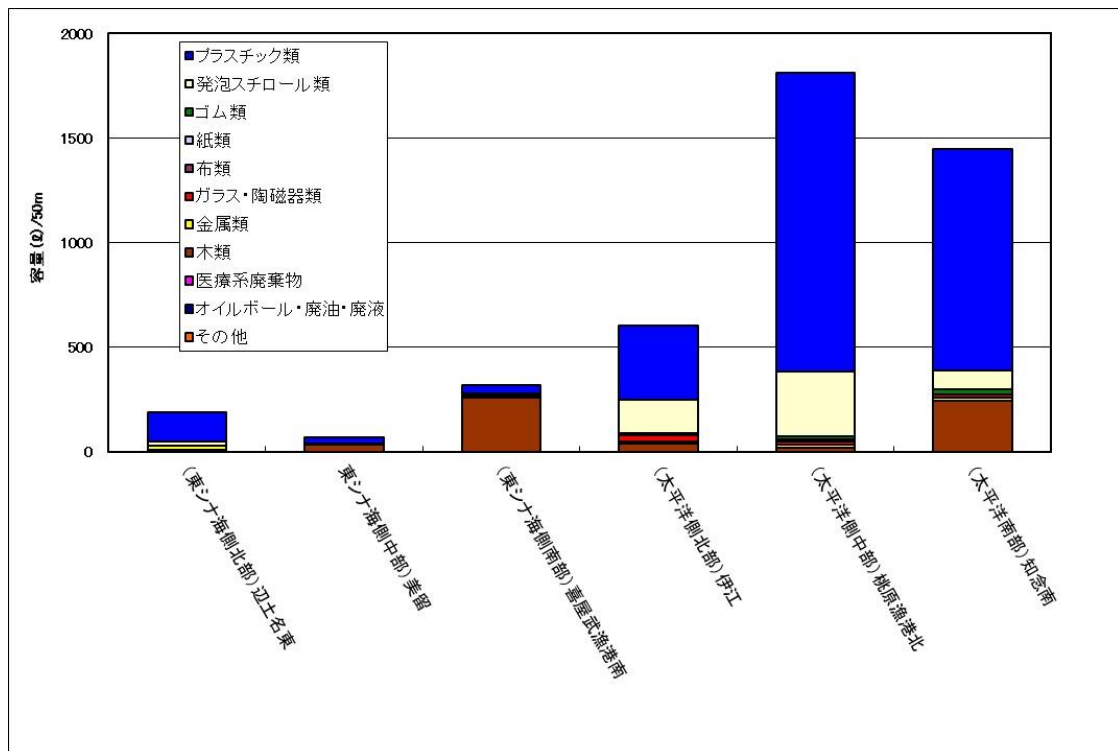


図 4.3-11 海岸漂着物の漂着容量調査結果（沖縄本島地域）
（令和2年11月～令和3年11月の365日あたり）
【素材別】

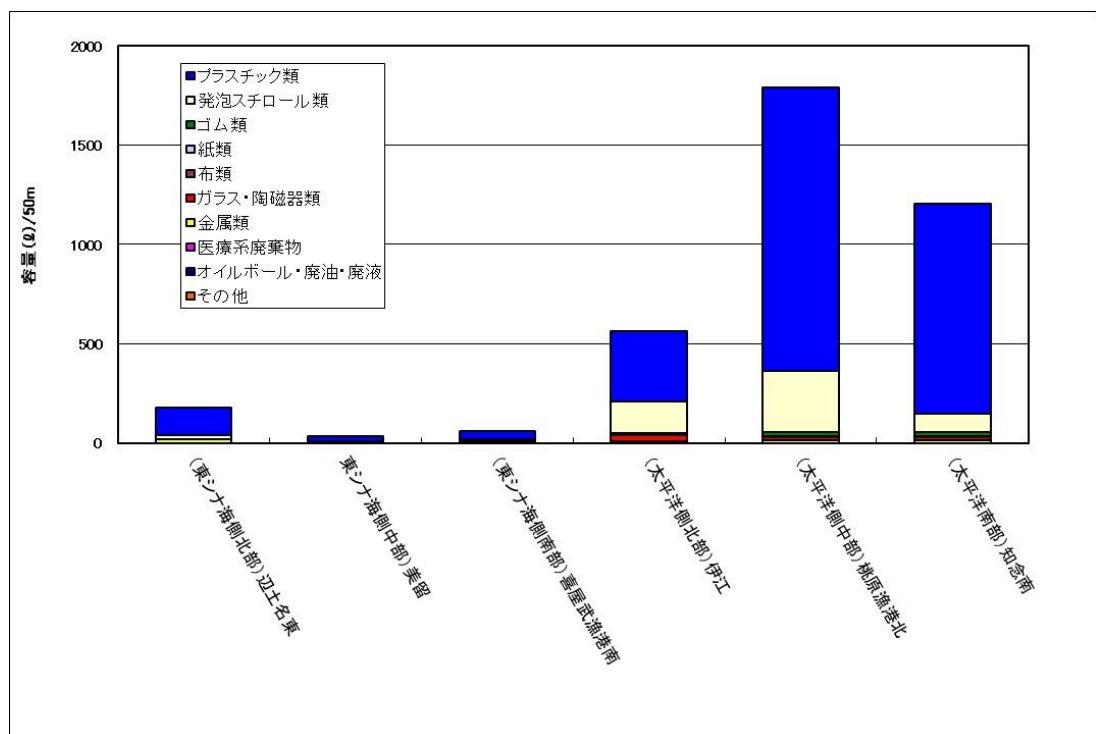


図 4.3-12 海岸漂着物の漂着容量調査結果（沖縄本島地域）
（令和2年11月～令和3年11月の365日あたり）
【素材別・木類を除く】

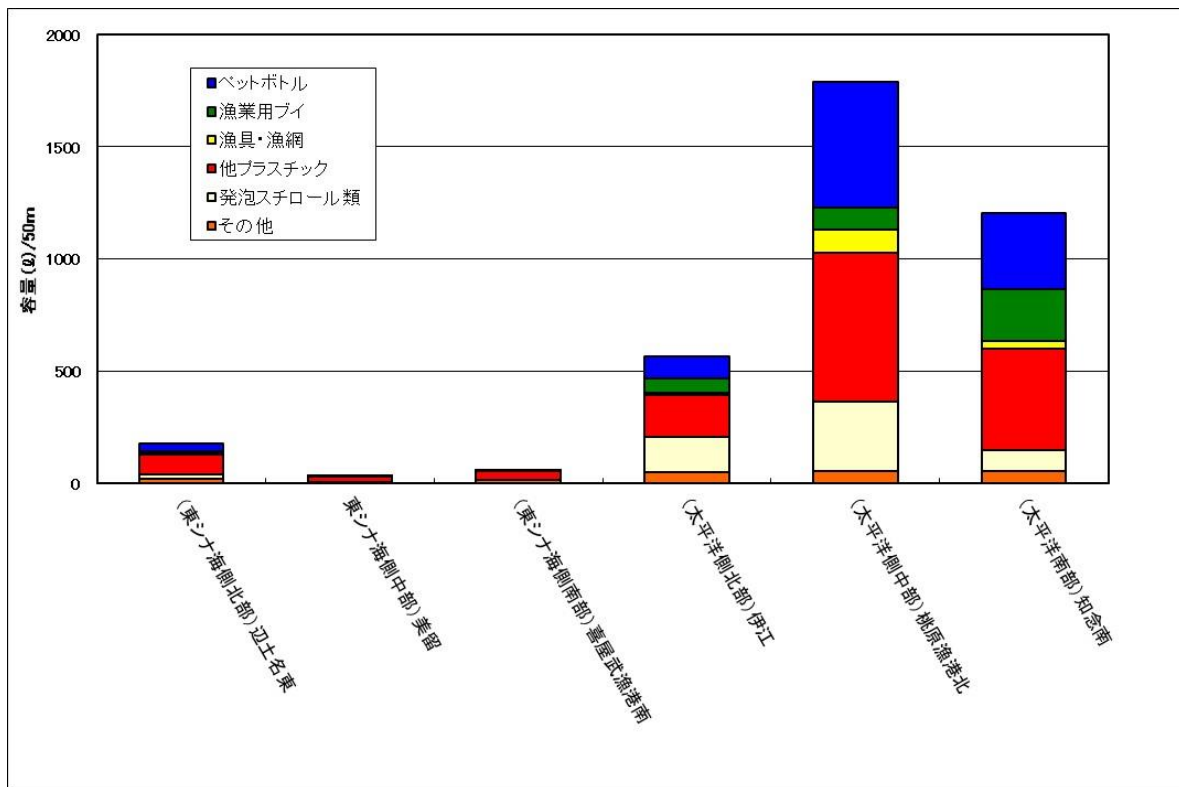


図 4.3-13 海岸漂着物の漂着容量調査結果（沖縄本島地域）
 （令和2年11月～令和3年11月の365日あたり）
 【プラスチック類に注目した種類別・木類を除く】

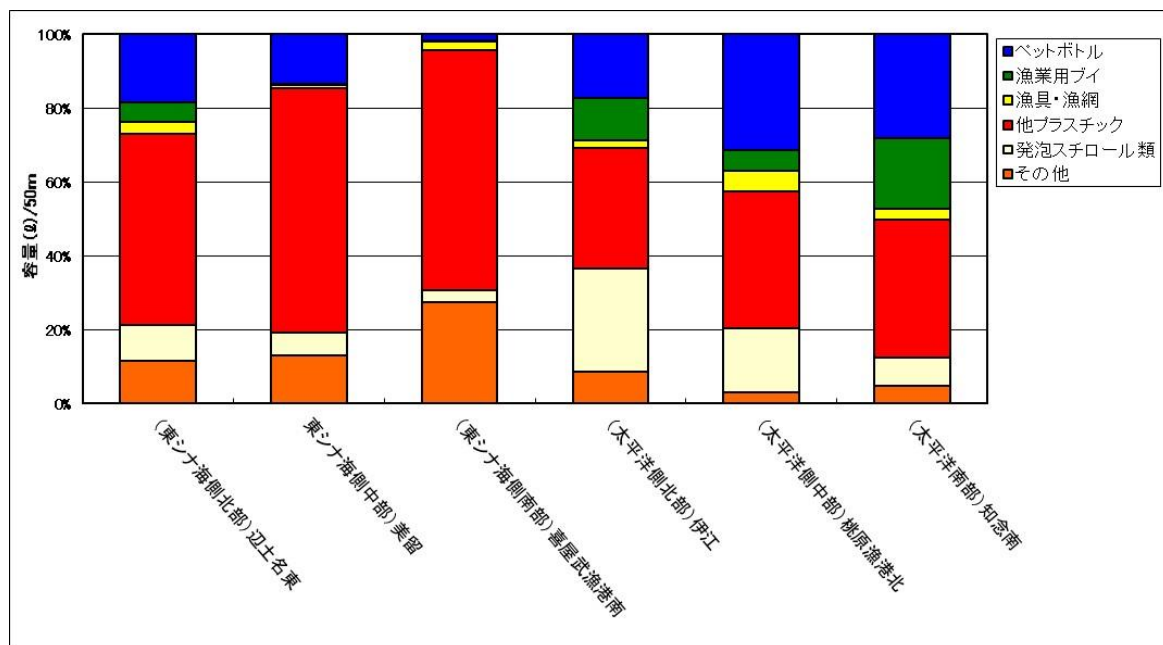


図 4.3-14 海岸漂着物の漂着容量調査結果（沖縄本島地域）
 （令和2年11月～令和3年11月の365日あたり）
 【プラスチック類に注目した種類別・木類を除く 割合】

表 4.3-5 海岸漂着物の漂着重量調査結果（宮古諸島地域）
（令和3年11月～令和4年1月の60日あたり）

単位:kg/50m/60日

素 材	種 類	宮古島・池間島			
		北	北東	南	西
		カギンミ西	西原海岸	入江海岸	前浜海岸
1. プラスチック類	ペットボトル	26.3	15.3	0.3	
	漁業用ブイ	45.2	9.1	0.2	
	漁具・漁網	6.5	1.2	0.0	0.0
	他プラスチック	33.4	11.0	0.5	0.0
プラスチック類合計		111.3	36.6	1.0	0.1
2. 発泡スチロール類		23.1	5.8	0.2	0.0
3. ゴム類		7.7	0.9	0.0	
4. 紙類			0.0		
5. 布類					
6. ガラス・陶磁器類		1.8	5.6	0.1	0.2
7. 金属類		0.9	1.0	0.5	0.0
8. 木類		412.3	19.0		
9. 医療系廃棄物		0.0		0.0	
10. オイルボール・廃油・廃液					
11. その他(粗大ごみ等)					
品目別その他(木材を除く3～11の合計)		10.4	7.5	0.6	0.2
木類を除く合計		144.8	49.9	1.7	0.3
合計		557.1	68.9	1.7	0.3

注 1) 数値は小数点第二位で四捨五入して表記した。

注 2) 空欄は回収がないことを、「0.0」は 0.05kg 未満を示す。

表 4.3-6 海岸漂着物の漂着容量調査結果（宮古諸島地域）
（令和3年11月～令和4年1月の60日あたり）

単位:L/50m/60日

素 材	種 類	宮古島・池間島			
		北	北東	南	西
		カギンミ西	西原海岸	入江海岸	前浜海岸
1. プラスチック類	ペットボトル	625.7	257.1	2.9	
	漁業用ブイ	480.0	102.9	2.1	
	漁具・漁網	46.7	9.9	0.2	0.1
	他プラスチック	444.9	198.8	2.1	0.2
プラスチック類合計		1597.4	568.7	7.2	0.3
2. 発泡スチロール類		816.7	334.3	5.8	0.1
3. ゴム類		42.9	8.6	0.1	
4. 紙類			0.1		
5. 布類					
6. ガラス・陶磁器類		9.4	22.4	0.1	0.2
7. 金属類		15.4	8.6	1.4	0.1
8. 木類		1114.3	51.4		
9. 医療系廃棄物		0.0		0.0	
10. オイルボール・廃油・廃液					
11. その他(粗大ごみ等)					
品目別その他(木材を除く3～11の合計)		67.7	39.6	1.6	0.3
合計		3596.1	994.1	14.6	0.6

注 1) 数値は小数点第二位で四捨五入して表記した。

注 2) 空欄は回収がないことを、「0.0」は 0.05L 未満を示す。

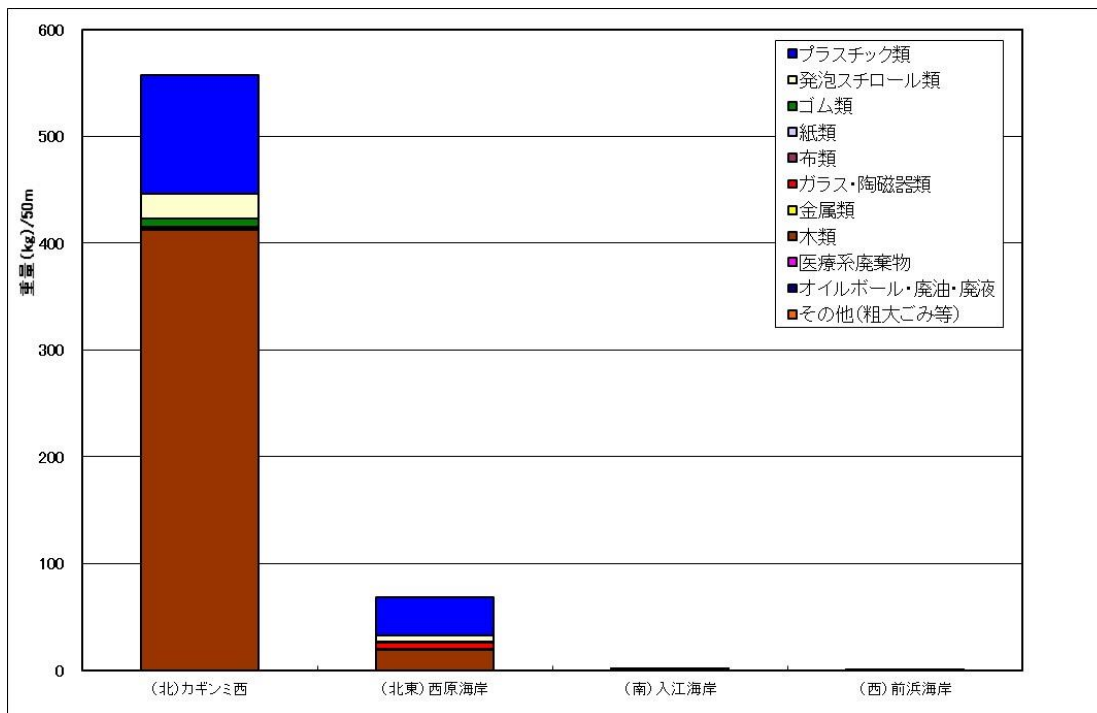


図 4.3-15 海岸漂着物の漂着重量調査結果（宮古諸島地域）

（令和 3 年 11 月～令和 4 年 1 月の 60 日あたり）

【素材別】

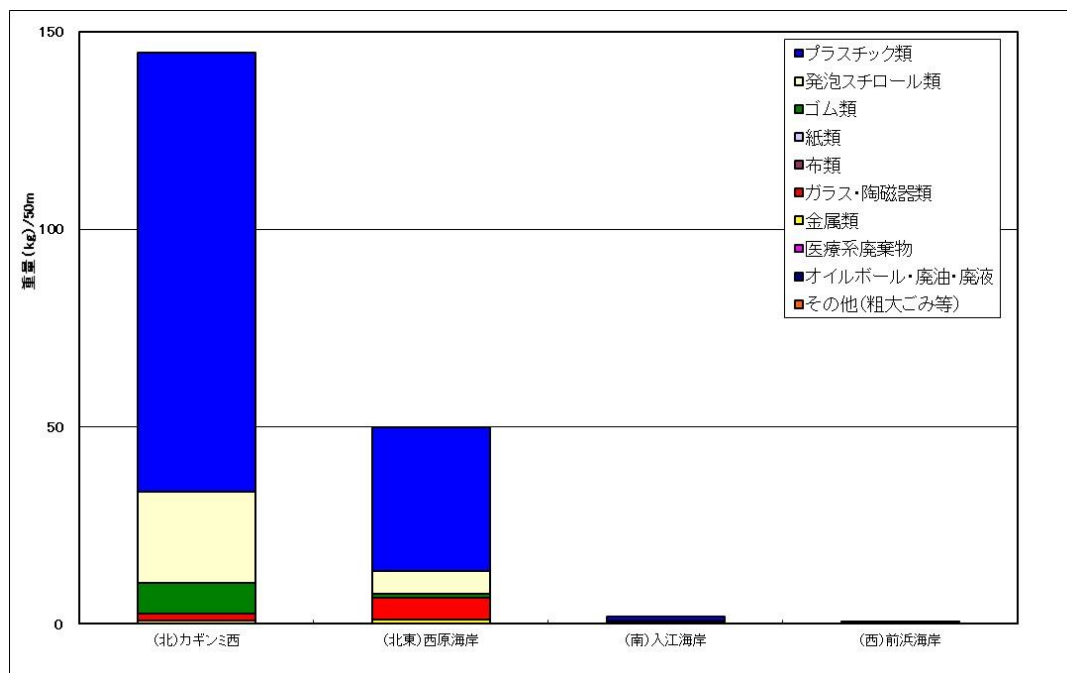


図 4.3-16 海岸漂着物の漂着重量調査結果（宮古諸島地域）

（令和 3 年 11 月～令和 4 年 1 月の 60 日あたり）

【素材別・木類を除く】

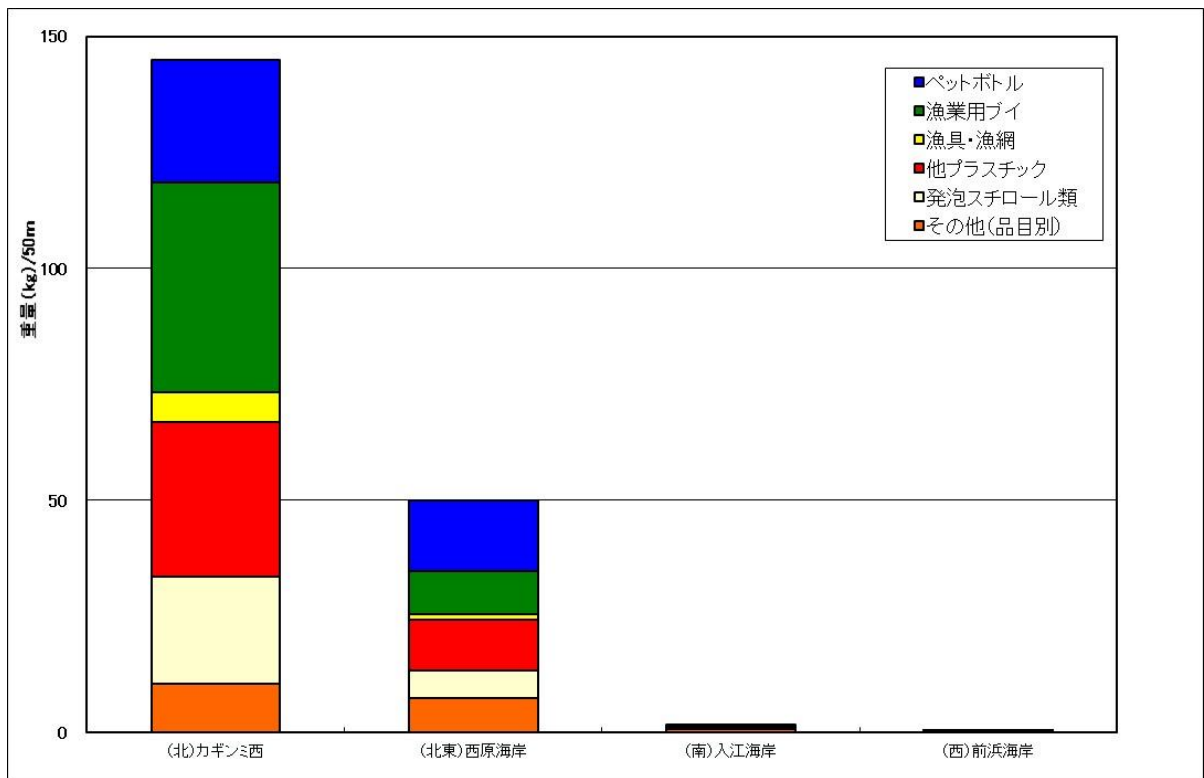


図 4.3-17 海岸漂着物の漂着重量調査（宮古諸島地域）

（令和3年11月～令和4年1月の60日あたり）

【プラスチック類に注目した種類別・木類を除く】

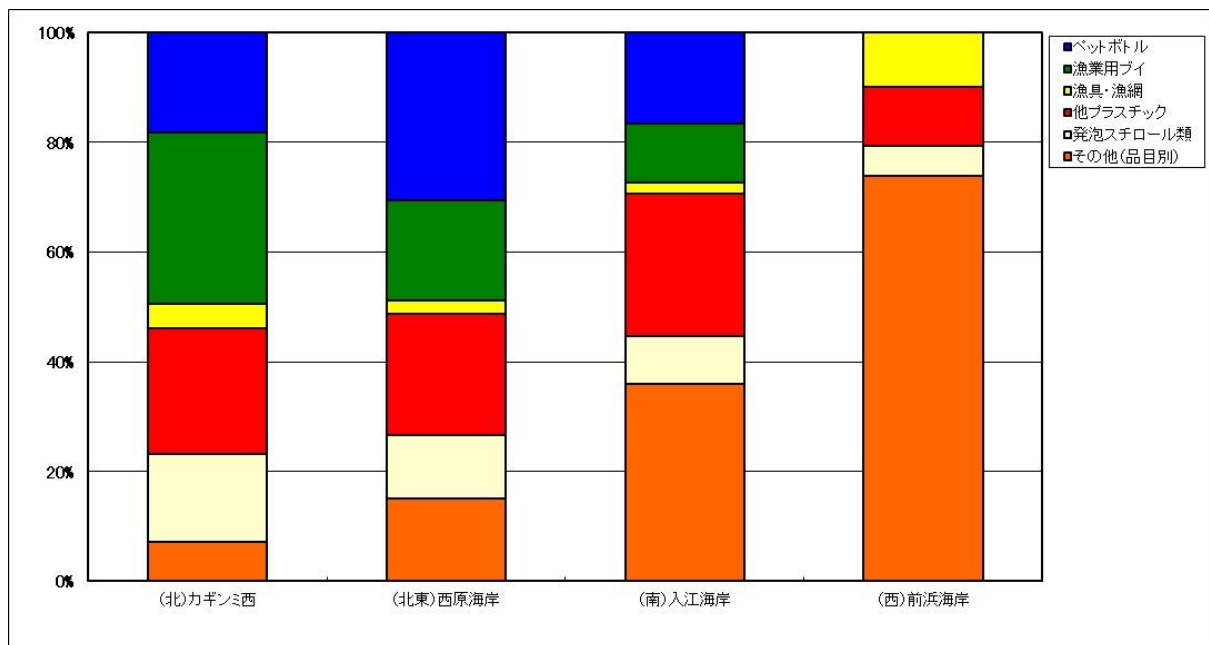


図 4.3-18 海岸漂着物の漂着重量調査結果（宮古諸島地域）

（令和3年11月～令和4年1月の60日あたり）

【プラスチック類に注目した種類別・木類を除く 割合】

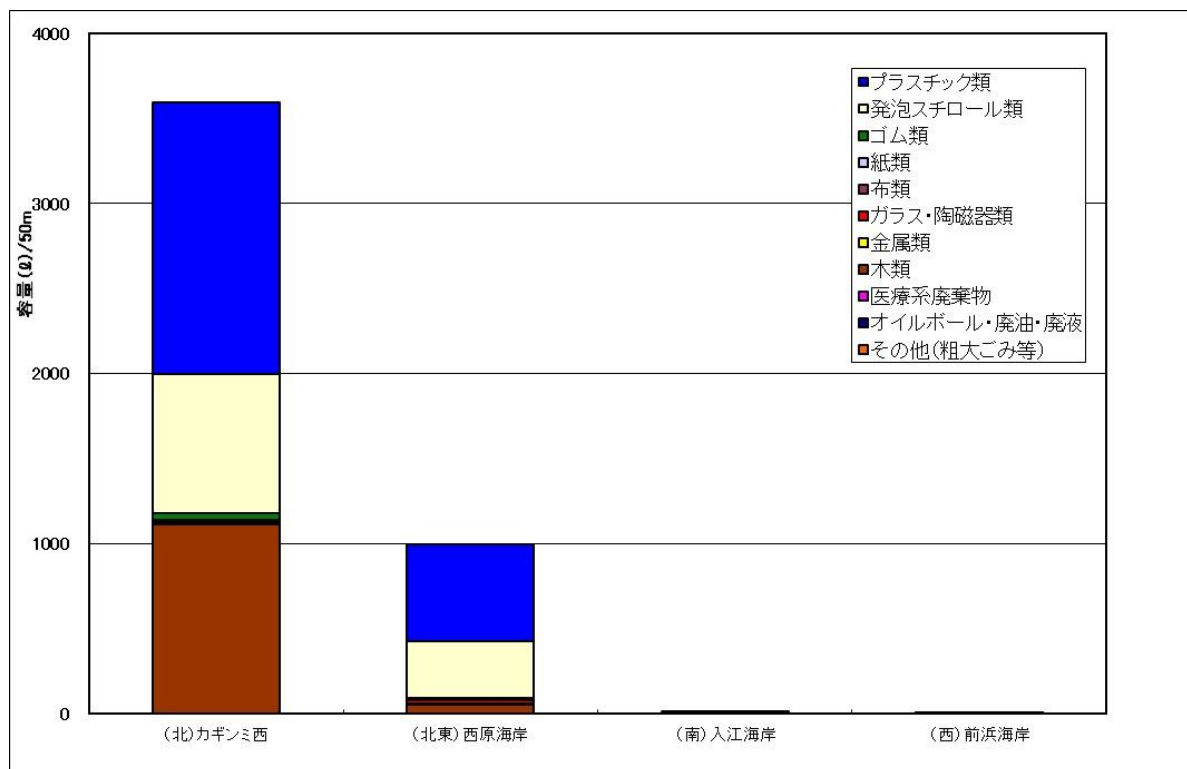


図 4.3-19 海岸漂着物の漂着容量調査結果（宮古諸島地域）

（令和 3 年 11 月～令和 4 年 1 月の 60 日あたり）

【素材別】

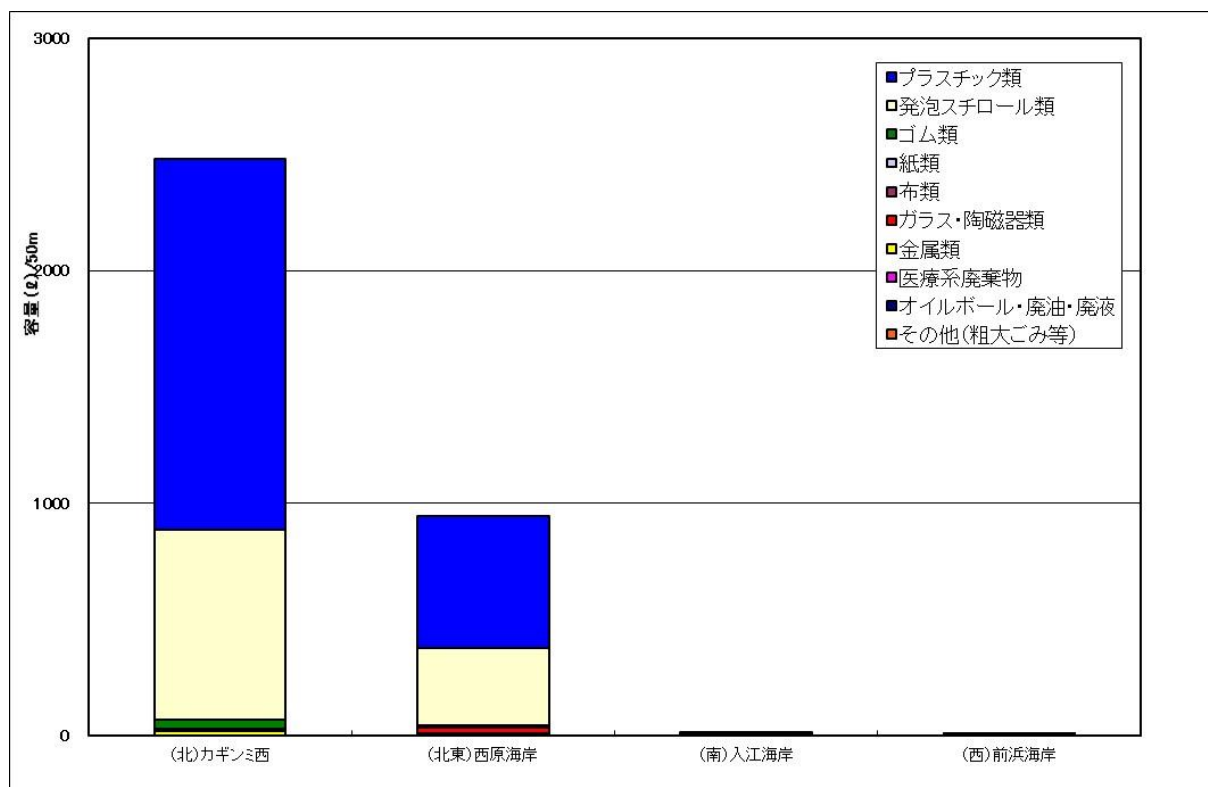


図 4.3-20 海岸漂着物の漂着容量調査結果（宮古諸島地域）

（令和 3 年 11 月～令和 4 年 1 月の 60 日あたり）

【素材別・木類を除く】

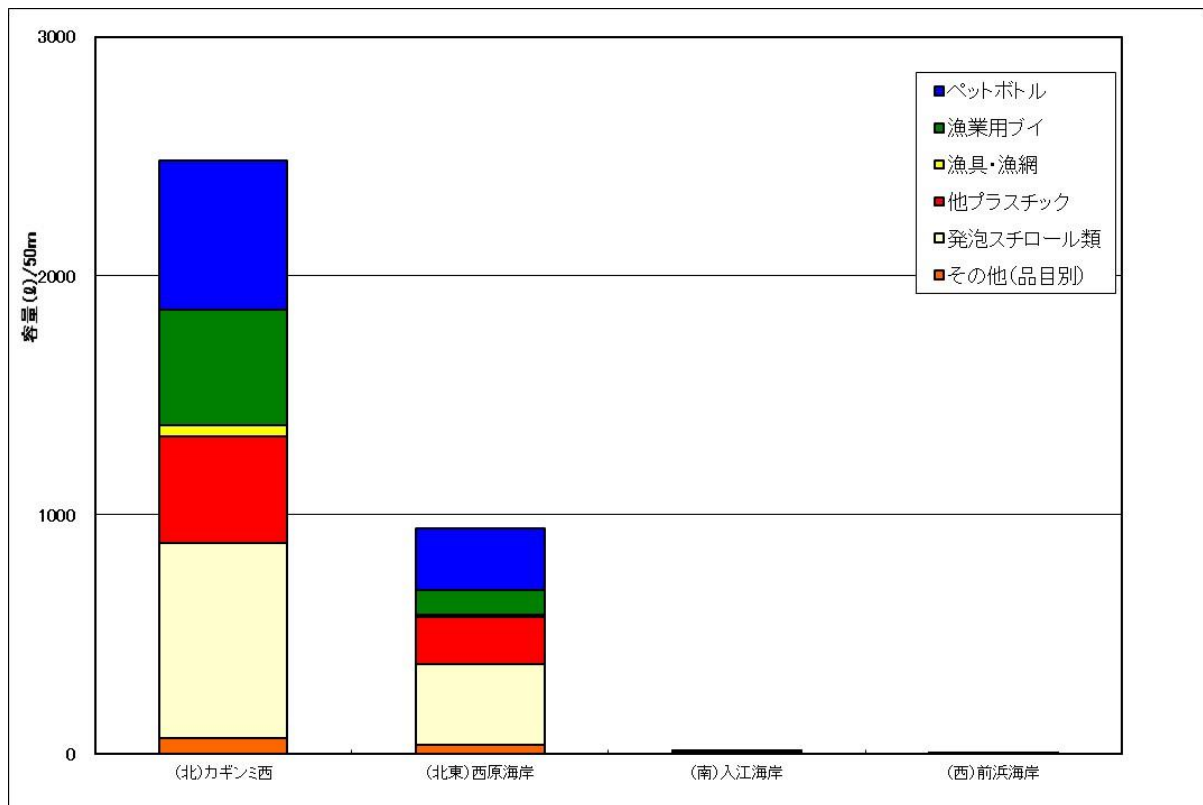


図 4.3-21 海岸漂着物の漂着容量調査結果（宮古諸島地域）

（令和 3 年 11 月～令和 4 年 1 月の 60 日あたり）

【プラスチック類に注目した種類別・木類を除く】

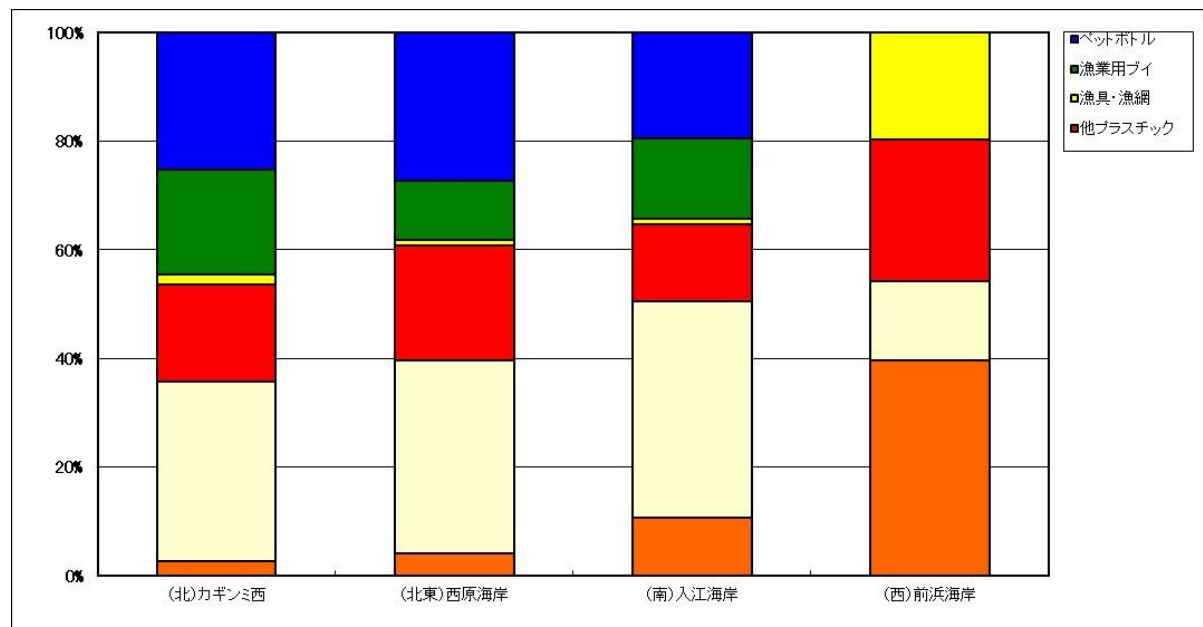


図 4.3-22 海岸漂着物の漂着容量調査結果（宮古諸島地域）

（令和 3 年 11 月～令和 4 年 1 月の 60 日あたり）

【プラスチック類に注目した種類別・木類を除く 割合】

③ 地域別の漂着量

沖縄本島地域の市町村別の365日あたりの海岸漂着量を表4.3-7から表4.3-10、図4.3-23から図4.3-26に、宮古諸島地域の市町村別60日あたりの海岸漂着物量を表4.3-11から表4.3-12、図4.3-27から図4.3-30示す。沖縄本島地域全体では重量、容量ともにプラスチック類の漂着量が多かったが、重量では木類の漂着量も多く、全体重量の25%を占めた。宮古諸島地域では木類の漂着量が多く、漂着重量の66%、漂着容量の23%を占めた。容量では発砲スチロールの漂着量が最も多く、全体の漂着容量の26%を占めた。

表 4.3-7 海岸漂着物の漂着重量推計結果（令和2年11月～令和3年11月の365日あたり）【沖縄本島地域1】

単位：kg

①地域 区分	②市町村名	③島名 等	海岸長 (m)	ごみ重量(kg)														合計
				ペット ボトル	漁業用 ブイ	その他の プラス チック類	プラス チック類 合計	発泡スチ ロール類	ゴム類	紙類	布類	ガラス・ 陶磁器類	金属類	木類	医療系 廃棄物	オイルボ ール・廃油 ・廃液	その他 (粗大 ごみ等)	
沖 縄 本 島	01_国頭村	01_沖縄本島	17,900	1,164	2,128	3,611	6,903	533	315	53	31	3,277	722	2,307	0	0	0	14,141
	02_大宜味村	01_沖縄本島	5,680	302	178	1,002	1,483	64	80	3	0	225	235	482	0	0	0	2,574
	03_東村	01_沖縄本島	6,290	506	1,464	1,475	3,445	339	139	38	25	2,325	244	1,170	0	0	0	7,726
	04_名護市	01_沖縄本島(東シナ海側)	10,163	540	319	1,794	2,653	115	144	6	0	403	421	863	0	0	0	4,605
		01_沖縄本島(太平洋側)	10,090	812	2,348	2,366	5,527	543	222	61	41	3,730	392	1,877	0	0	0	12,393
		02_奥武島	600	32	19	106	157	7	8	0	0	24	25	51	0	0	0	272
		03_屋我地島	5,270	280	165	930	1,376	60	75	3	0	209	218	448	0	0	0	2,388
		名護市合計	26,123	1,665	2,851	5,196	9,712	725	449	71	41	4,365	1,056	3,239	0	0	0	19,658
	05_今帰仁村	01_沖縄本島	5,945	316	186	1,049	1,552	67	84	4	0	236	246	505	0	0	0	2,694
		04_古宇利島	1,814	96	57	320	473	21	26	1	0	72	75	154	0	0	0	822
		今帰仁村合計	7,759	413	243	1,369	2,025	88	110	5	0	308	322	659	0	0	0	3,516
	06_本部町	01_沖縄本島	6,420	341	201	1,133	1,676	73	91	4	0	254	266	545	0	0	0	2,909
		05_瀬底島	1,290	69	40	228	337	15	18	1	0	51	53	110	0	0	0	585
		本部町合計	7,710	410	242	1,361	2,012	87	109	5	0	306	320	655	0	0	0	3,494
	07_恩納村	01_沖縄本島	14,760	239	30	2,890	3,159	31	42	0	0	227	395	2,119	0	0	0	5,972
	08_読谷村	01_沖縄本島	6,072	98	12	1,189	1,300	13	17	0	0	93	162	872	0	0	0	2,457
	09_嘉手納町	01_沖縄本島	85	1	0	17	18	0	0	0	0	1	2	12	0	0	0	34
	10_北谷町	01_沖縄本島	1,330	22	3	260	285	3	4	0	0	20	36	191	0	0	0	538
	11_宜野湾市	01_沖縄本島	280	5	1	55	60	1	1	0	0	4	7	40	0	0	0	113
	12_宜野座村	01_沖縄本島	6,295	1,892	1,454	6,971	10,316	917	369	121	0	848	218	293	0	0	0	13,081
	13_金武町	01_沖縄本島	4,685	1,408	1,082	5,188	7,677	682	275	90	0	631	162	218	0	0	0	9,736

表 4.3-8 海岸漂着物の漂着重量推計結果（令和2年11月～令和3年11月の365日あたり）【沖縄本島地域2】

単位：kg

①地域 区分	②市町村名	③島名 等	海岸長 (m)	ごみ重量(kg)														合計
				ペット ボトル	漁業用 ブイ	その他の プラス チック類	プラス チック類 合計	発泡スチ ロール類	ゴム類	紙類	布類	ガラス・ 陶磁器類	金属類	木類	医療系 廃棄物	オイルボ ール・廃油 ・廃液	その他 (粗大 ごみ等)	
40 沖 縄 本 島	14_うるま市	01_沖縄本島	9,255	2,781	2,137	10,248	15,167	1,348	543	178	0	1,246	320	430	0	0	0	19,232
		06_藪地島	1,830	550	423	2,026	2,999	267	107	35	0	246	63	85	0	0	0	3,803
		07_伊計島	2,890	868	667	3,200	4,736	421	169	56	0	389	100	134	0	0	0	6,006
		08_浜比嘉島	1,450	436	335	1,606	2,376	211	85	28	0	195	50	67	0	0	0	3,013
		09_宮城島	1,350	406	312	1,495	2,212	197	79	26	0	182	47	63	0	0	0	2,805
		うるま市合計	16,775	5,041	3,874	18,575	27,490	2,443	984	323	0	2,259	580	780	0	0	0	34,859
	15_沖縄市	01_沖縄本島	2,115	636	488	2,342	3,466	308	124	41	0	285	73	98	0	0	0	4,395
	16_北中城村	01_沖縄本島	1,060	319	245	1,174	1,737	154	62	20	0	143	37	49	0	0	0	2,203
	17_中城村	01_沖縄本島	4,255	1,279	983	4,712	6,973	620	250	82	0	573	147	198	0	0	0	8,842
	18_浦添市	01_沖縄本島	1,475	9	1	114	123	2	4	4	0	62	51	2,817	0	0	0	3,064
	19_那覇市	01_沖縄本島	320	2	0	25	27	0	1	1	0	13	11	611	0	0	0	665
	20_豊見城市	01_沖縄本島	670	4	0	52	56	1	2	2	0	28	23	1,280	0	0	0	1,392
		11_瀬長島	820	5	0	63	69	1	2	2	0	34	28	1,566	0	0	0	1,703
		豊見城市合計	1,490	9	1	115	125	2	4	4	0	62	51	2,846	0	0	0	3,095
	21_糸満市	01_沖縄本島	6,755	584	1,679	2,579	4,842	140	123	11	106	567	265	12,023	0	0	0	18,075
	22_西原町	01_沖縄本島	790	154	460	573	1,186	34	35	0	4	110	36	1,268	0	0	1	2,675
	23_与那原町	01_沖縄本島	900	175	524	652	1,352	39	40	0	5	126	41	1,445	0	0	1	3,047
	24_南城市	01_沖縄本島	7,585	1,476	4,416	5,498	11,390	327	338	0	40	1,058	344	12,175	0	0	9	25,682
		10_奥武島	760	148	442	551	1,141	33	34	0	4	106	34	1,220	0	0	1	2,573
		南城市合計	8,345	1,624	4,858	6,049	12,532	360	372	0	44	1,165	379	13,395	0	0	10	28,256
	25_八重瀬町	01_沖縄本島	1,500	292	873	1,087	2,253	65	67	0	8	209	68	2,408	0	0	2	5,079
	東シナ海側北部 集計		47,302	2,516	1,483	8,349	12,347	536	670	29	0	1,875	1,961	4,017	0	0	0	21,434
	東シナ海側中部 集計		22,527	364	46	4,411	4,821	47	64	0	0	346	602	3,234	0	0	0	9,115
	東シナ海側南部 集計		7,160	43	4	551	599	10	19	20	1	300	247	13,674	0	0	0	14,871
	太平洋側北部 集計		24,160	1,944	5,623	5,666	13,234	1,301	533	147	98	8,931	938	4,495	0	0	0	29,675
	太平洋側中部 集計		35,185	10,573	8,125	38,961	57,659	5,125	2,063	677	0	4,739	1,217	1,636	0	0	0	73,116
	太平洋側南部 集計		14,415	2,805	8,392	10,449	21,647	622	642	0	76	2,012	654	23,139	0	0	17	48,808
	沖縄本島地域合計		150,749	18,246	23,673	68,388	110,307	7,640	3,990	873	175	18,202	5,619	50,196	0	0	17	197,020

表 4.3-9 海岸漂着物の漂着容量推計結果（令和2年11月～令和3年11月の365日あたり）【沖縄本島地域1】

単位：L

①地域 区分	②市町村名	③島名 等	海岸長 (m)	ごみ容量(L)														
				ペット ボトル	漁業用 ブイ	その他の プラス チック類	プラス チック類 合計	発泡スチ ロール類	ゴム類	紙類	布類	ガラス・ 陶磁器類	金属類	木類	医療系 廃棄物	オイルポ ール・廃油 ・廃液	その他 (粗大 ごみ等)	合計
沖 縄 本 島	01_国頭村	01_沖縄本島	17,900	21,672	12,010	50,014	83,695	28,246	1,734	219	63	4,747	4,833	7,993	0	0	0	131,530
	02_大宜味村	01_沖縄本島	5,680	3,687	1,045	10,991	15,724	1,981	161	34	0	276	1,803	1,149	0	0	0	21,128
	03_東村	01_沖縄本島	6,290	12,211	8,204	24,602	45,017	19,982	1,170	127	51	3,441	1,310	4,808	0	0	0	75,906
	04_名護市	01_沖縄本島(東シナ海側)	10,163	6,597	1,870	19,666	28,134	3,545	288	62	0	493	3,227	2,055	0	0	0	37,803
		01_沖縄本島(太平洋側)	10,090	19,587	13,160	39,466	72,213	32,054	1,877	204	82	5,519	2,102	7,713	0	0	0	121,764
		02_奥武島	600	389	110	1,161	1,661	209	17	4	0	29	190	121	0	0	0	2,232
		03_屋我地島	5,270	3,421	970	10,198	14,589	1,838	149	32	0	256	1,673	1,066	0	0	0	19,603
		名護市合計	26,123	29,995	16,111	70,491	116,597	37,647	2,331	301	82	6,297	7,192	10,955	0	0	0	181,401
	05_今帰仁村	01_沖縄本島	5,945	3,859	1,094	11,504	16,457	2,074	168	36	0	289	1,887	1,202	0	0	0	22,113
		04_古宇利島	1,814	1,177	334	3,510	5,022	633	51	11	0	88	576	367	0	0	0	6,747
		今帰仁村合計	7,759	5,036	1,428	15,014	21,479	2,707	220	47	0	377	2,463	1,569	0	0	0	28,861
	06_本部町	01_沖縄本島	6,420	4,167	1,181	12,423	17,772	2,239	182	39	0	312	2,038	1,298	0	0	0	23,880
		05_瀬底島	1,290	837	237	2,496	3,571	450	37	8	0	63	410	261	0	0	0	4,798
		本部町合計	7,710	5,005	1,419	14,920	21,343	2,689	218	47	0	374	2,448	1,559	0	0	0	28,679
	07_恩納村	01_沖縄本島	14,760	1,343	15	6,707	8,065	621	45	1	0	501	735	9,551	0	0	0	19,519
	08_読谷村	01_沖縄本島	6,072	553	6	2,759	3,318	255	18	0	0	206	302	3,929	0	0	0	8,030
	09_嘉手納町	01_沖縄本島	85	8	0	39	46	4	0	0	0	3	4	55	0	0	0	112
	10_北谷町	01_沖縄本島	1,330	121	1	604	727	56	4	0	0	45	66	861	0	0	0	1,759
	11_宜野湾市	01_沖縄本島	280	25	0	127	153	12	1	0	0	10	14	181	0	0	0	370
	12_宜野座村	01_沖縄本島	6,295	70,903	12,233	96,444	179,580	39,156	2,228	764	0	2,253	1,477	2,546	0	0	0	228,003
	13_金武町	01_沖縄本島	4,685	52,769	9,104	71,777	133,651	29,141	1,658	568	0	1,677	1,099	1,895	0	0	0	169,689

表 4.3-10 海岸漂着物の漂着容量推計結果（令和2年11月～令和3年11月の365日あたり）【沖縄本島地域2】

単位：L

①地域 区分	②市町村名	③島名 等	海岸長 (m)	ごみ容量(L)															
				ペット ボトル	漁業用 ブイ	その他の プラス チック類	プラス チック類 合計	発泡スチ ロール類	ゴム類	紙類	布類	ガラス・ 陶磁器類	金属類	木類	医療系 廃棄物	オイルボ ール・廃油 ・廃液	その他 (粗大 ごみ等)	合計	
沖 縄 本 島	14.うるま市	01_沖縄本島	9,255	104,243	17,985	141,793	264,021	57,568	3,275	1,123	0	3,313	2,171	3,743	0	0	0	335,214	
		06_藪地島	1,830	20,612	3,556	28,037	52,205	11,383	648	222	0	655	429	740	0	0	0	66,282	
		07_伊計島	2,890	32,551	5,616	44,277	82,444	17,976	1,023	351	0	1,034	678	1,169	0	0	0	104,675	
		08_浜比嘉島	1,450	16,332	2,818	22,215	41,365	9,019	513	176	0	519	340	586	0	0	0	52,519	
		09_宮城島	1,350	15,206	2,623	20,683	38,512	8,397	478	164	0	483	317	546	0	0	0	48,897	
		うるま市合計	16,775	188,944	32,599	257,005	478,548	104,343	5,936	2,035	0	6,004	3,935	6,784	0	0	0	607,586	
	15.沖縄市	01_沖縄本島	2,115	23,822	4,110	32,403	60,336	13,156	748	257	0	757	496	855	0	0	0	76,605	
	16.北中城村	01_沖縄本島	1,060	11,939	2,060	16,240	30,239	6,593	375	129	0	379	249	429	0	0	0	38,393	
	17.中城村	01_沖縄本島	4,255	47,926	8,269	65,190	121,384	26,467	1,506	516	0	1,523	998	1,721	0	0	0	154,115	
	18.浦添市	01_沖縄本島	1,475	30	3	1,135	1,168	54	42	16	1	93	311	7,645	0	0	0	9,331	
	19.那覇市	01_沖縄本島	320	6	1	246	253	12	9	4	0	20	67	1,659	0	0	0	2,024	
	20.豊見城市	01_沖縄本島	670	14	1	516	531	25	19	7	0	42	141	3,473	0	0	0	4,238	
		11_瀬長島	820	17	2	631	649	30	23	9	0	52	173	4,250	0	0	0	5,187	
		豊見城市合計	1,490	30	3	1,147	1,180	55	42	17	1	94	314	7,723	0	0	0	9,425	
	21.糸満市	01_沖縄本島	6,755	19,592	13,371	30,943	63,906	5,461	1,435	43	118	1,166	1,676	33,907	0	0	12	107,724	
	22.西原町	01_沖縄本島	790	5,353	3,666	7,670	16,688	1,459	364	0	32	253	236	3,792	0	0	3	22,825	
	23.与那原町	01_沖縄本島	900	6,098	4,176	8,738	19,012	1,662	414	0	36	288	269	4,320	0	0	4	26,004	
	24.南城市	01_沖縄本島	7,585	51,394	35,195	68,866	155,455	14,005	3,490	0	275	2,440	2,281	5,812	0	0	0	183,758	
		10_奥武島	760	5,150	3,527	6,900	15,576	1,403	350	0	28	244	229	582	0	0	0	18,412	
		南城市合計	8,345	56,543	38,722	75,766	171,031	15,408	3,840	0	303	2,684	2,509	6,395	0	0	0	202,170	
	25.八重瀬町	01_沖縄本島	1,500	10,164	6,960	14,563	31,686	2,770	690	0	60	479	448	7,199	0	0	6	43,339	
	東シナ海側北部 集計			47,302	30,704	8,704	91,534	130,943	16,500	1,339	287	0	2,296	15,017	9,565	0	0	0	175,948
	東シナ海側中部 集計			22,527	2,050	23	10,236	12,308	948	68	1	0	765	1,122	14,577	0	0	0	29,790
	東シナ海側南部 集計			7,160	144	14	5,511	5,670	264	202	79	4	453	1,507	37,112	0	0	0	45,293
	太平洋側北部 集計			24,160	46,901	31,512	94,499	172,911	76,752	4,495	489	195	13,215	5,032	18,467	0	0	0	291,557
	太平洋側中部 集計			35,185	396,304	68,375	539,059	1,003,738	218,857	12,451	4,269	0	12,594	8,253	14,230	0	0	0	1,274,391
	太平洋側南部 集計			14,415	97,672	66,888	139,947	304,506	26,616	6,634	0	581	4,607	4,305	69,184	0	0	58	416,491
	沖縄本島地域合計			150,749	573,775	175,516	880,785	1,630,077	339,936	25,189	5,125	781	33,931	35,237	163,135	0	0	58	2,233,469

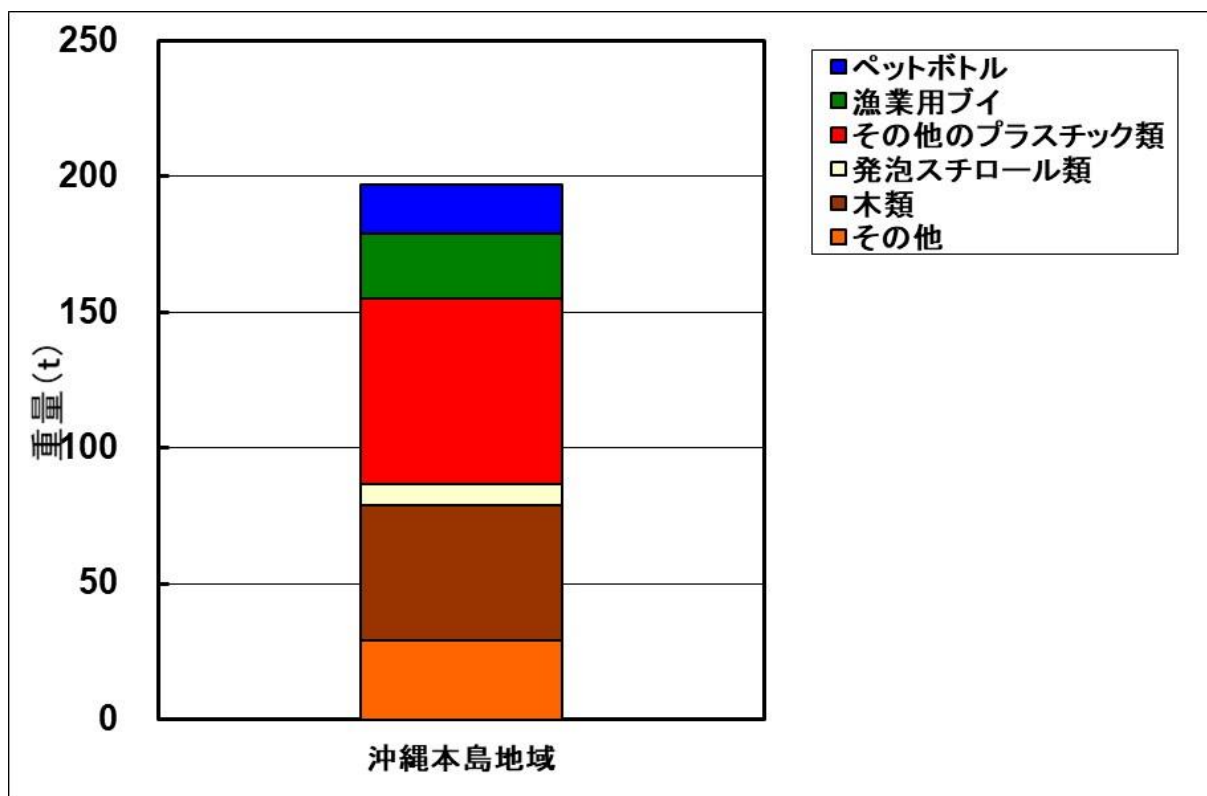


図 4.3-23 沖縄本島地域の海岸漂着物の漂着重量推計結果
(令和2年11月～令和3年11月の365日あたり)

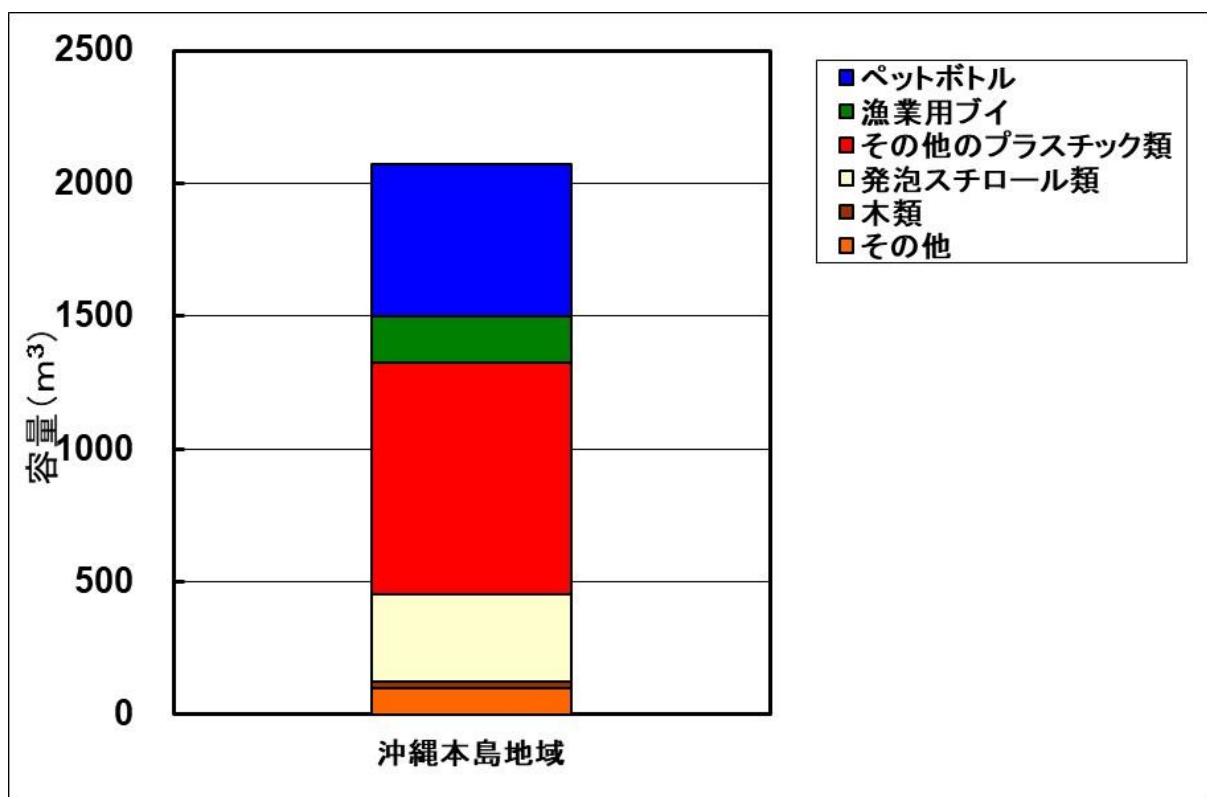


図 4.3-24 沖縄本島地域の海岸漂着物の漂着容量推計結果
(令和2年11月～令和3年11月の365日あたり)

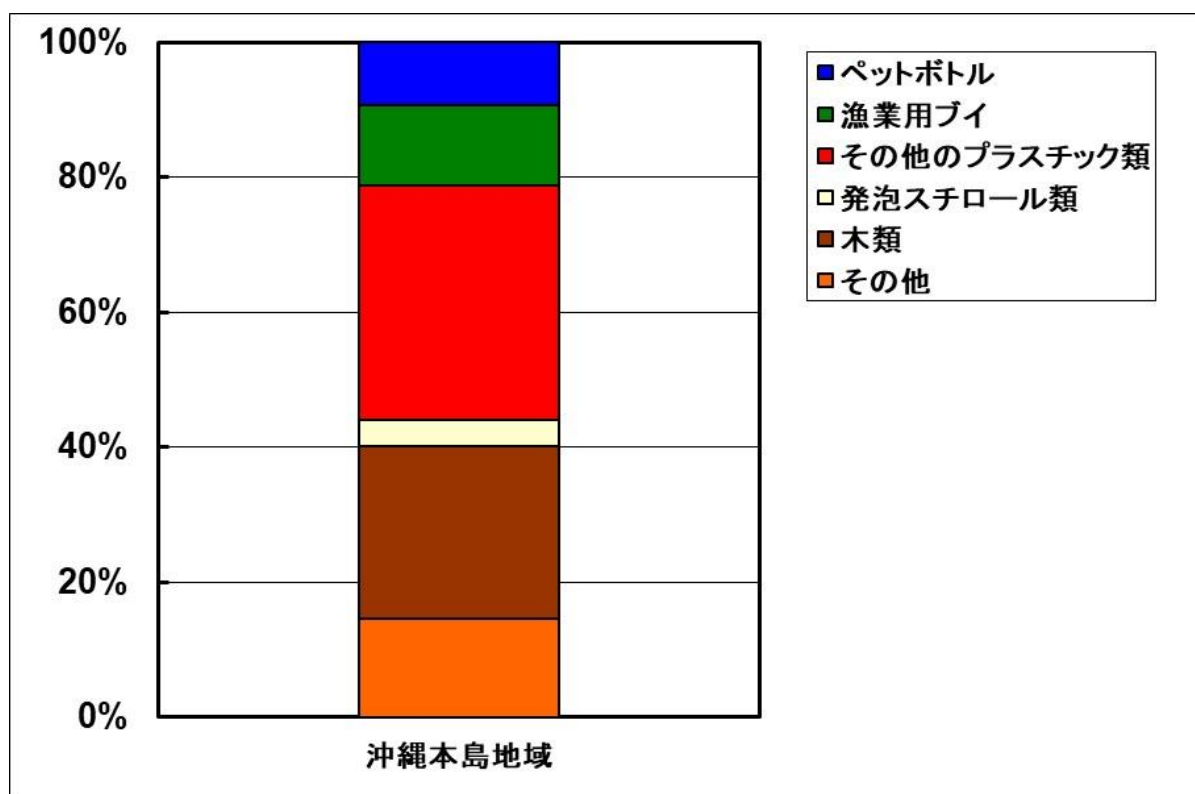


図 4.3-25 沖縄本島地域の海岸漂着物の漂着重量推計結果（割合）
（令和2年11月～令和3年11月の365日あたり）

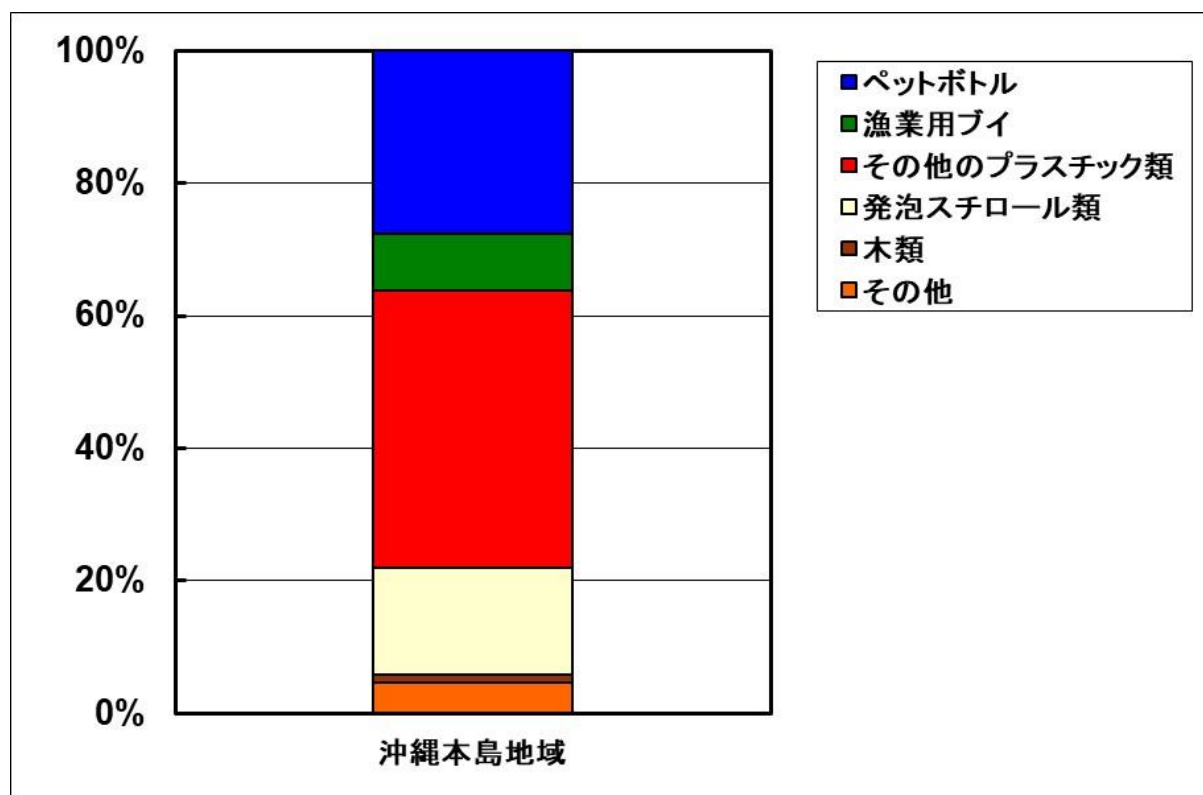


図 4.3-26 沖縄本島地域の海岸漂着物の漂着容量推計結果（割合）
（令和2年11月～令和3年11月の365日あたり）

表 4.3-11 海岸漂着物の漂着重量推計結果（令和３年１１月～令和４年１月の６０日あたり）【宮古諸島地域】

単位：kg

①地域 区分	②市町村名	③島名 等	海岸長 (m)	ごみ重量(kg)														合計
				ペット ボトル	漁業用 フイ	その他の プラス チック類	プラス チック類 合計	発泡スチ ロール類	ゴム類	紙類	布類	ガラス・ 陶磁器類	金属類	木類	医療系 廃棄物	オイルボ ール・廃油 ・廃液	その他 (粗大 ごみ等)	
宮古諸島	34_宮古島市	28_宮古島	37,855	4,065	3,836	4,218	12,119	2,192	528	4	0	1,186	302	23,195	1	0	0	39,526
		29_池間島	1,610	322	381	382	1,084	207	58	0	0	68	22	2,825	0	0	0	4,265
		30_大神島	284	10	6	9	25	4	1	0	0	4	2	11	0	0	0	46
		31_来間島	1,865	55	93	86	234	49	16	0	0	10	5	845	0	0	0	1,159
		32_伊良部島	6,415	391	393	430	1,213	223	56	0	0	111	46	2,519	0	0	0	4,169
		33_下地島	4,100	830	1,209	1,128	3,167	635	198	0	0	117	47	10,209	0	0	0	14,373
		宮古島市合計	52,129	5,673	5,917	6,252	17,842	3,309	857	5	0	1,496	424	39,605	1	0	0	63,539
	35_多良間村	34_多良間島	11,187	2,854	4,150	3,865	10,868	2,188	679	1	0	396	151	35,037	1	0	0	49,321
		35_水納島(多良間村)	5,510	976	953	1,026	2,955	539	134	1	0	265	64	5,990	0	0	0	9,948
		多良間村合計	16,697	3,829	5,102	4,891	13,823	2,727	812	2	0	661	215	41,027	1	0	0	59,269
	宮古諸島地域合計		68,826	9,502	11,020	11,143	31,665	6,037	1,669	6	0	2,157	639	80,633	2	0	0	122,807

表 4.3-12 海岸漂着物の漂着容量推計結果（令和３年１１月～令和４年１月の６０日あたり）【宮古諸島地域】

単位：L

①地域 区分	②市町村名	③島名 等	海岸長 (m)	ごみ容量(L)														合計
				ペット ボトル	漁業用 フイ	その他の プラス チック類	プラス チック類 合計	発泡スチ ロール類	ゴム類	紙類	布類	ガラス・ 陶磁器類	金属類	木類	医療系 廃棄物	オイルボ ール・廃油 ・廃液	その他 (粗大 ごみ等)	
宮古諸島	34_宮古島市	28_宮古島	37,855	76,953	41,929	61,790	180,672	100,530	3,615	16	0	4,579	2,530	62,688	1	0	0	354,632
		29_池間島	1,610	6,563	4,109	5,223	15,894	8,580	359	1	0	281	202	7,635	0	0	0	32,953
		30_大神島	284	162	67	132	360	216	5	0	0	14	9	31	0	0	0	635
		31_来間島	1,865	1,296	994	1,027	3,316	1,703	88	0	0	25	41	2,284	0	0	0	7,458
		32_伊良部島	6,415	7,474	4,277	5,993	17,744	9,837	367	1	0	409	288	6,809	0	0	0	35,457
		33_下地島	4,100	18,353	12,926	14,508	45,788	23,993	1,144	1	0	506	516	27,593	1	0	0	99,542
		宮古島市合計	52,129	110,800	64,302	88,673	263,775	144,860	5,579	19	0	5,815	3,587	107,041	2	0	0	530,676
	35_多良間村	34_多良間島	11,187	63,082	44,374	49,860	157,316	82,425	3,928	4	0	1,744	1,748	94,695	2	0	0	341,861
		35_水納島(多良間村)	5,510	18,694	10,394	14,979	44,067	24,392	900	4	0	1,061	586	16,190	0	0	0	87,200
		多良間村合計	16,697	81,777	54,767	64,839	201,383	106,816	4,827	7	0	2,805	2,334	110,885	2	0	0	429,060
	宮古諸島地域合計		68,826	192,576	119,069	153,512	465,158	251,676	10,406	26	0	8,620	5,921	217,926	4	0	0	959,736

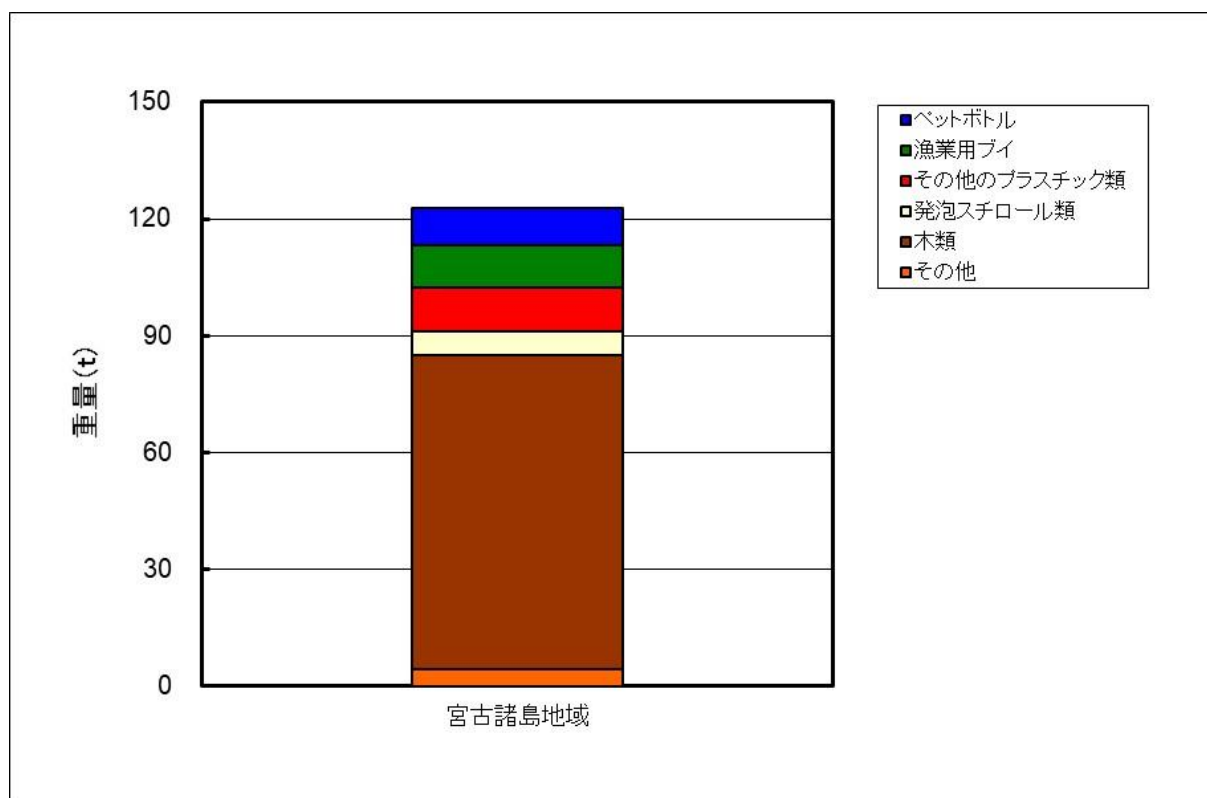


図 4.3-27 宮古諸島地域の海岸漂着物の漂着重量推計結果
(令和3年11月～令和4年1月の60日あたり)

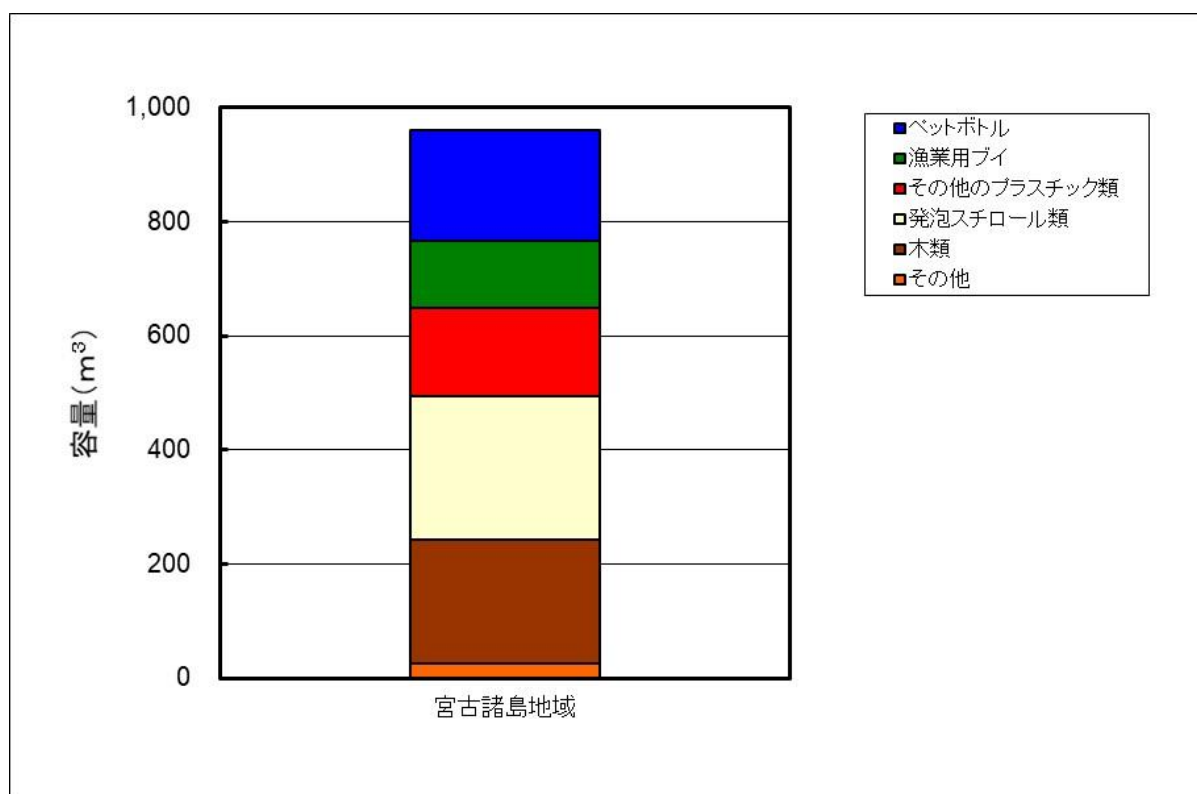


図 4.3-28 宮古諸島地域の海岸漂着物の漂着容量推計結果
(令和3年11月～令和4年1月の60日あたり)

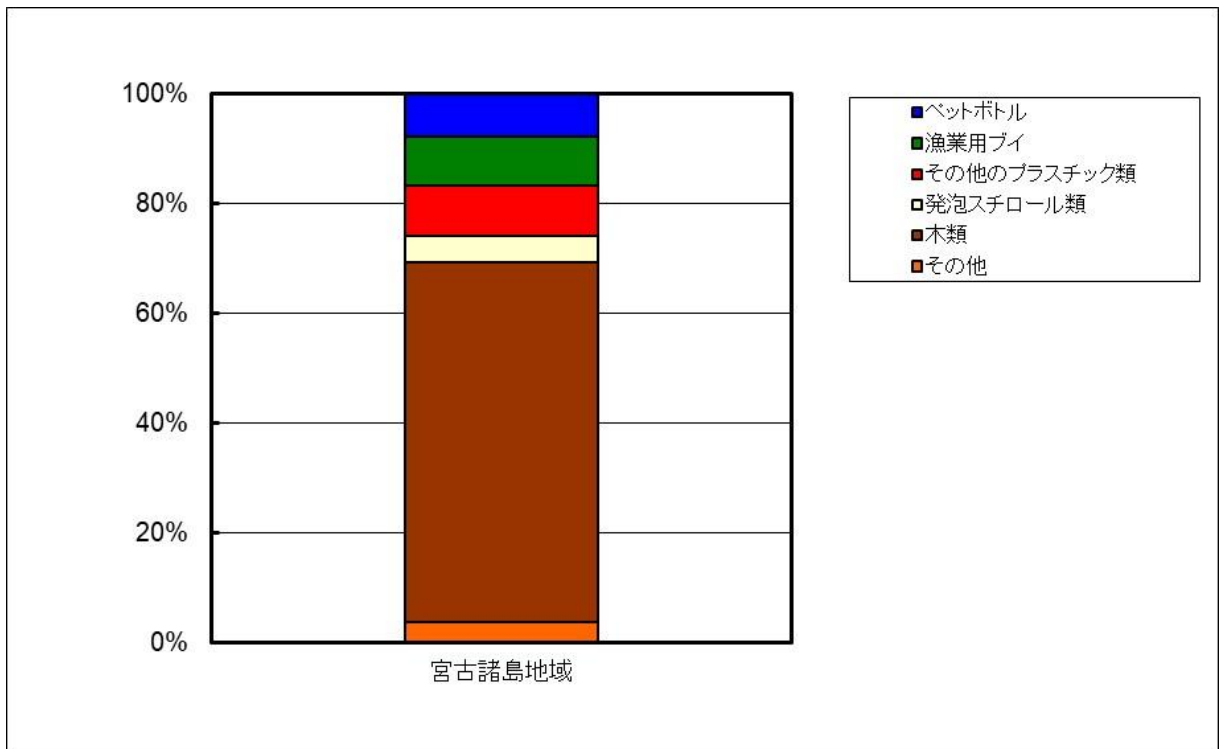


図 4.3-29 宮古諸島地域の海岸漂着物の漂着重量推計結果 (割合)
(令和3年11月～令和4年1月の60日あたり)

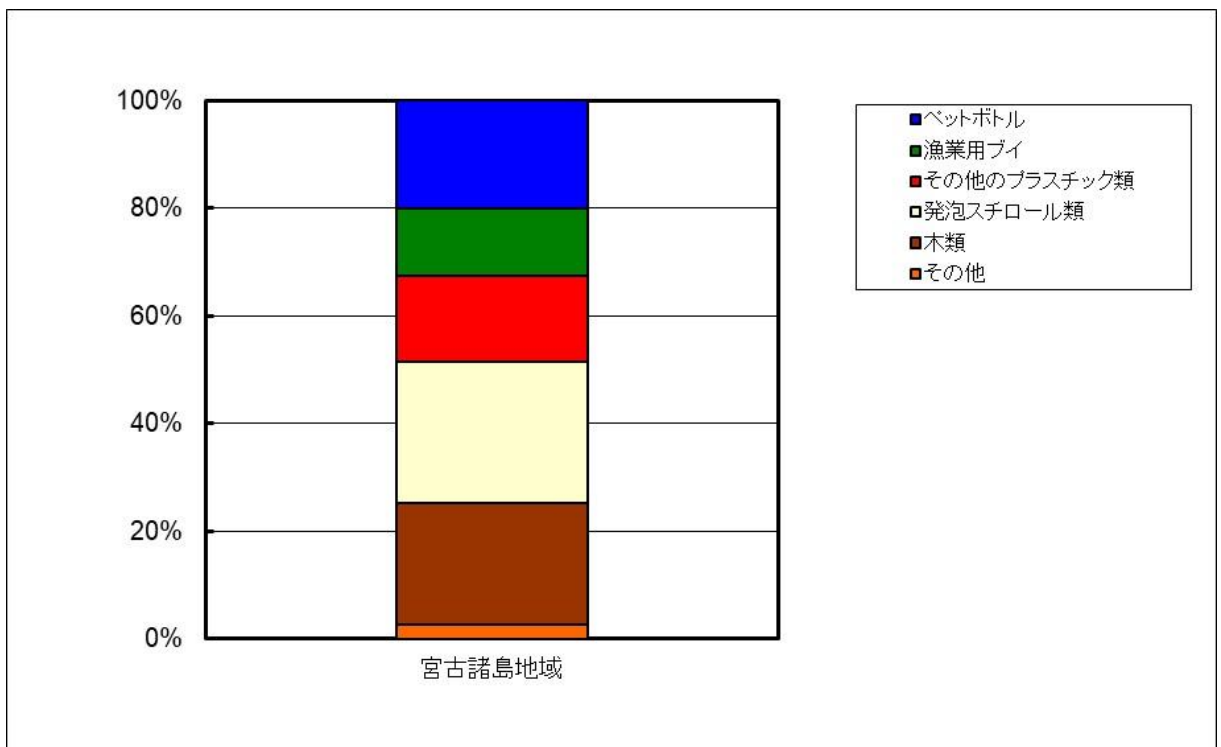


図 4.3-30 宮古諸島地域の海岸漂着物の漂着容量推計結果 (割合)
(令和3年11月～令和4年1月の60日あたり)